

EcoChange 操作マニュアル

(第 5.0 版)

2022.08.01

改定

初版	2019.10.3	
2 版	2020.06.22	中小企業共通 EDI バージョン 3 対応
3 版	2020.11.30	EcoChange インストーラー Ver.1.0.5 対応
4 版	2021.05.18	EcoChange インストーラー Ver.1.0.6 対応
5 版	2021.08.01	電子帳簿保存法対応、各種設定画面の変更に対応

目次

目次

1	はじめに	1
	1.1 このマニュアルについて	1
	1.2 EcoChange とは	1
	1.3 略称・略語、本文中で使用したマークの意味	1
2	起動・ログイン	2
	2.1 EcoChange の起動	2
	2.2 設定画面	3
	2.3 ログインダイアログ	6
3	その他の起動方法	7
	3.1 ブラウザでの起動	7
	3.2 バッチでの起動	8
	3.3 ブラウザおよびバッチ起動した場合のご注意	9
4	メインメニュー	12
	4.1 タイトルバー	13
	4.2 メニューバー	13
	4.3 アカウント情報	14
	4.4 送受信ボタン	15
	4.5 ファイル共有ボタン	16
	4.6 ZEDI ボタン	16
	4.7 お知らせ	17
	4.8 その他、設定など	17
5	送受信画面	18
	5.1 メニューバー	19
	5.2 検索条件設定エリア	21
	5.3 アクションボタンエリア	26
	5.4 データ表示エリア	34

5.5	編集ダイアログ	35
6	ファイル共有画面	38
6.1	ファイル共有 配信画面	38
6.2	配信画面：ファイル配信画面のタブ説明	39
6.3	配信画面：ファイル配信タブ	40
6.4	配信画面 ファイル配信タブ：アクションボタンエリア	41
6.5	配信画面 ファイル配信タブ：ファイル表示エリア	41
6.6	配信画面 ファイル配信タブ：配信対象選択エリア	42
6.7	配信画面 ファイル配信タブ：ファイル配信ボタン	43
6.8	配信画面 ファイル配信履歴タブ	43
6.9	配信画面 ファイル配信履歴タブ：検索条件設定エリア	44
6.10	配信画面 ファイル配信履歴タブ：アクションボタンエリア	45
6.11	配信画面 ファイル配信履歴タブ：ファイル表示エリア	46
6.12	ファイル共有 閲覧画面	47
6.13	閲覧画面：検索条件設定エリア	47
6.14	閲覧画面：アクションボタンエリア	48
6.15	閲覧画面：ファイル表示エリア	49
7	設定画面	50
7.1	メニューバー	50
7.2	基本設定	51
7.3	データマッピング設定	56
7.4	アプリケーション連携 オプション機能	65
7.5	自動処理個別設定	67
7.6	自動処理共通設定	72
7.7	データ送信通知メール設定	75
7.8	データ新着通知メール設定	78
7.9	企業コード変換設定	81
7.10	コード変換設定	83
7.11	データ変換作成設定	86
7.12	帳票レイアウトファイル登録	89

7.13	帳票利用設定	91
7.14	処理名称設定	94
7.15	電子帳簿保存法対応設定	95
7.16	ZEDI インターフェイス設定 オプション機能	96
7.17	仕向銀行設定 オプション機能	98
7.18	取引先銀行設定 オプション機能	101
7.19	設定情報の出力・取込	104
8	自動処理	105
8.1	自動処理アップロード	105
8.2	自動処理ダウンロード	105
8.3	自動処理実行例	106
8.4	コマンドモードでの EcoChange 起動	109
9	通信設定	116
9.1	プロキシ設定(ブラウザおよびバッチ起動時に必要)	117
9.2	証明書設定	118
9.3	通信設定	120
10	トラブルシューティング	122
10.1	ブラウザ起動エラー	122
10.2	CSV 取込エラー	123
10.3	その他エラー	124
11	逆引き	127
11.1	メールと連動したい	127
11.2	自動で処理を行いたい	127
11.3	画面に表示する項目を変更したい	127
11.4	CSV に出力する項目を変更したい	128
11.5	帳票のレイアウトを変更したい	128

1

はじめに

1.1 このマニュアルについて

このマニュアルは、EcoChange の操作マニュアルです。

1.2 EcoChange とは

EcoChange とは、国連 CEFAC T の業界横断 EDI 共通辞書に基づいた中小企業共通 EDI システムの事です。本文中では以降「本システム」と表記します。

本システムで取り扱うメッセージバージョンは、中小企業共通 EDI 標準(Ver.3)に準拠しています。

1.3 略称・略語、本文中で使用したマークの意味

表記例について説明します。

表記例	意味
クリックする	特別に注釈のない場合、マウスの左ボタンを押すことを表しています。右ボタンをクリックは「右クリック」と表記します。
ダブルクリックする	マウスの左ボタンを2回押すことを表しています。
[]	ボタン、フィールド、エリアなど画面の中のことばを表しています。
「 」	フォルダ名、ファイル名の表示を表しています。
バイヤー	発注側企業を指します。
サプライヤー	受注側企業を指します。
情報種	EDI で授受する情報の種類を指します。 注文情報、請求情報などが情報種に含まれます。
オプション機能	別途契約が必要な機能です。当機能をご利用になるには別途オプション契約が必要となります。

表 1-1

2

起動・ログイン

EcoChange の起動からログインについて説明します。

2.1 EcoChange の起動

EcoChange を起動します。EcoChange の起動はアプリ起動（アイコンからの起動）で行うことができます。

● 起動

- インストール時に作成された EcoChange のアイコンをダブルクリックします。



2.2 設定画面

EcoChange のアイコンを[Shift キー]+ダブルクリックすると設定画面が開きます。

※インストール後、初回起動時は必ず設定画面が表示されます



設定画面には接続に必要な情報を指定します。

それぞれ[アプリケーション]タブ、[プロキシ]タブ、[その他]タブがあります。

● アプリケーションタブ

EcoChange version: 1.0.12

アプリケーション プロキシ その他

アプリケーションのパラメータファイルを作成します。
各設定値を入力してください。

言語: 日本語

起動 URL: https://[サーバー]/ecochange

システムフォルダ: C:\Users\k_nishimura\EcoChange

JRE パス: C:\Users\k_nishimura\EcoChange\jre-min\bin\javaw

UI サイズ: 100%

起動パラメータ: 起動パラメータを追加する場合は入力してください。

OK キャンセル アンインストール

- [言語] : 表示される言語を指定します
- [起動 URL] : アプリケーションサーバーの URL を指定します
- [システムフォルダ] : システムが使用する領域を指定します
- [JRE パス] : 使用する JRE のパスを指定します
※分からない場合は変更しないでください
- [UI サイズ] : 画面サイズを指定したい時に変更します
- [起動パラメータ] : 弊社システム担当より通知された場合のみ指定します

● プロキシタブ

プロキシ利用する場合、EcoChange にもプロキシ設定が必要となります。
プロキシ利用の有無および設定内容については貴社システム担当者にご確認をお願いします。

EcoChange version: 1.0.12

アプリケーション プロキシ その他

プロキシの設定を入力してください。

プロキシホスト

プロキシポート

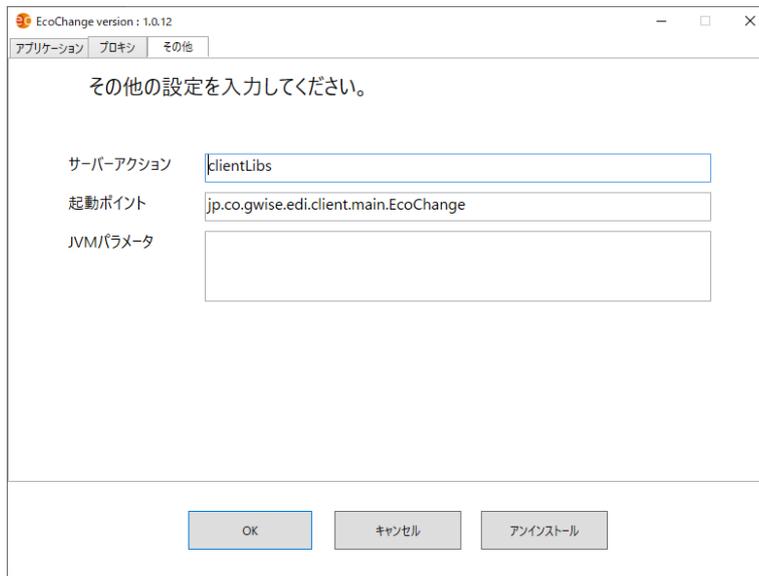
プロキシユーザー

プロキシパスワード

OK キャンセル アンインストール

- [プロキシホスト] : プロキシサーバーの IP アドレス（またはホスト名）を入力します
- [プロキシポート] : プロキシ接続を行うポートを入力します
- [プロキシユーザー] : プロキシに認証が必要な場合、ユーザー名を入力します
- [プロキシパスワード] : 認証ユーザーのパスワードを入力します

● その他タブ



The screenshot shows a dialog box titled "EcoChange version : 1.0.12" with three tabs: "アプリケーション", "プロキシ", and "その他". The "その他" tab is selected. The main text says "その他の設定を入力してください。" (Please enter other settings). There are three input fields: "サーバーアクション" (Server Action) with the value "clientLibs", "起動ポイント" (Startup Point) with the value "jp.co.gwise.edi.client.main.EcoChange", and "JVMパラメータ" (JVM Parameters) which is empty. At the bottom, there are three buttons: "OK", "キャンセル" (Cancel), and "アンインストール" (Uninstall).

- [サーバーアクション] : システムが使用するモジュールを指定します
- [起動ポイント] : Java モジュールの起動ポイントを指定します
- [JVM パラメータ] : JVM のパラメータを指定します



その他タブは、弊社システム担当より値を通知された場合のみ指定してください。

2.3 ログインダイアログ

EcoChange を起動すると、ログイン画面が表示されます。
必要な情報を入力し、EcoChange にログインしてください。
認証が成功した場合は、EDI システムのメニュー画面へ移ります。

● ログイン

- [企業コード][ユーザーID][パスワード]を入力します。
- [ログイン]をクリックします。

EcoChange クラウド型XML EDIシステム Version: 4.4.5

システム(S)

ログインしてください

企業コード

ユーザーID

パスワード

ログイン情報を記憶しておく

パスワードを記憶しておく

ログイン キャンセル

- ✓ [ログイン情報を記録しておく]にチェックをすると、
次回ログイン時に、[企業コード][ユーザーID]を入力しなくて良くなります。
- ✓ [パスワードを記憶しておく]にチェックをすると、
次回ログイン時に、[パスワード]を入力しなくて良くなります。

3

その他の起動方法

アプリ起動できない端末（32bit 機等）を使用している場合の起動方法を説明します。

3.1 ブラウザでの起動

ブラウザで直接 URL を入力し、HP から起動する方法です。

事前に Java のインストールが必要となります。

※ブラウザでの起動ができない場合は「[3.2 バッチでの起動](#)」をご参照ください

● ブラウザ起動

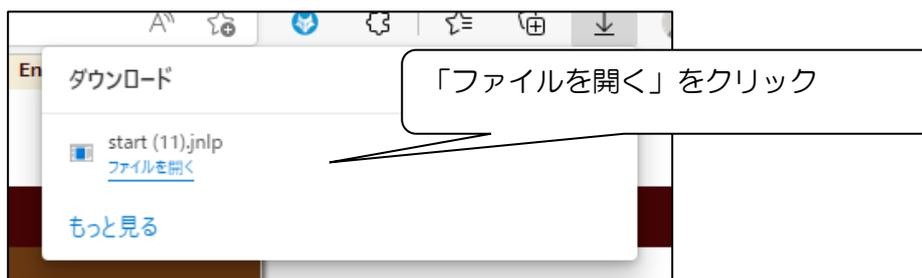
- アカウントと共に配布した URL を入力します。



- 表示された HP の[EcoChange を起動]をクリックすると起動ファイル（JNLP ファイル）がダウンロードされます。



- 起動ファイルを開くとアプリが起動します。



3.2 バッチでの起動

バッチファイルを作成して、バッチ起動する方法です。
事前に Java のインストールが必要となります。

● バッチ起動

- アプリケーションからメモ帳を起動します。
- 以下の文字列を（全て半角で）メモ帳に入力します。
START javaws https://アカウント登録時に配布された URL
- メニューの[ファイル]から[名前を付けて保存 (A)]を選びます。
- ファイルの種類を、[すべてのファイル (*.*)]に変更します。
- [ファイル名 (N)]に、「EcoChange スタート SIPS.bat」のように任意の名前+.bat を入力し[保存 (S)]をクリックします。
- 作成したバッチファイルをダブルクリックして、EcoChange を起動します。



3.3 ブラウザおよびバッチ起動した場合のご注意

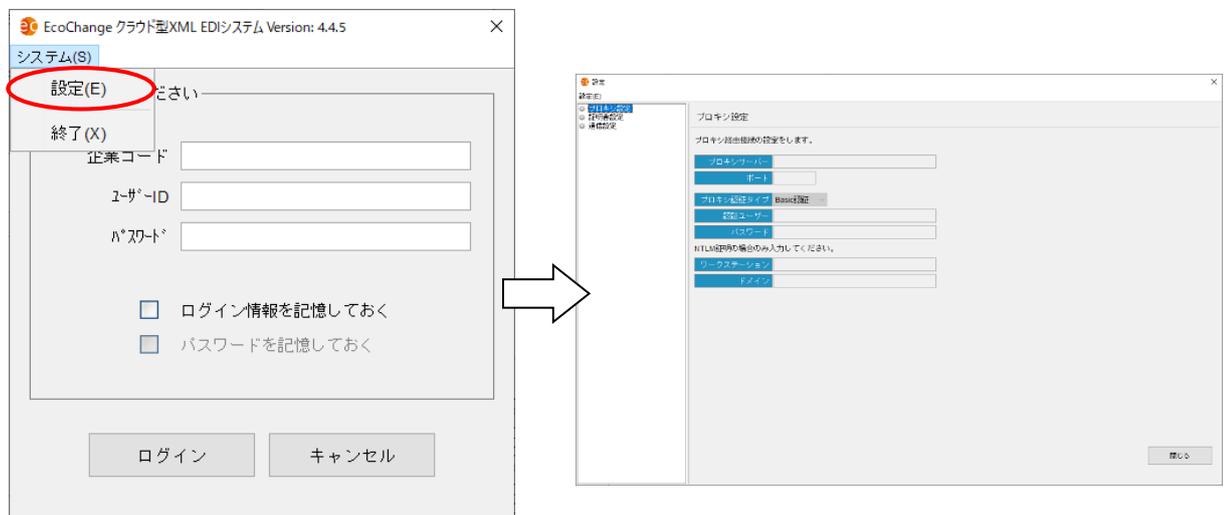
ブラウザまたはバッチ起動した場合の注意事項です。

● プロキシ設定

プロキシ利用する場合、EcoChange にもプロキシ設定が必要となります。
プロキシ利用の有無および設定内容については貴社システム担当者にご確認をお願いします。

設定画面は、ログインダイアログの上部システムメニューから「設定 (E)」を選択することで表示されます。

※ 画面の詳細は、「[9.1 プロキシ設定](#)」をご参照ください

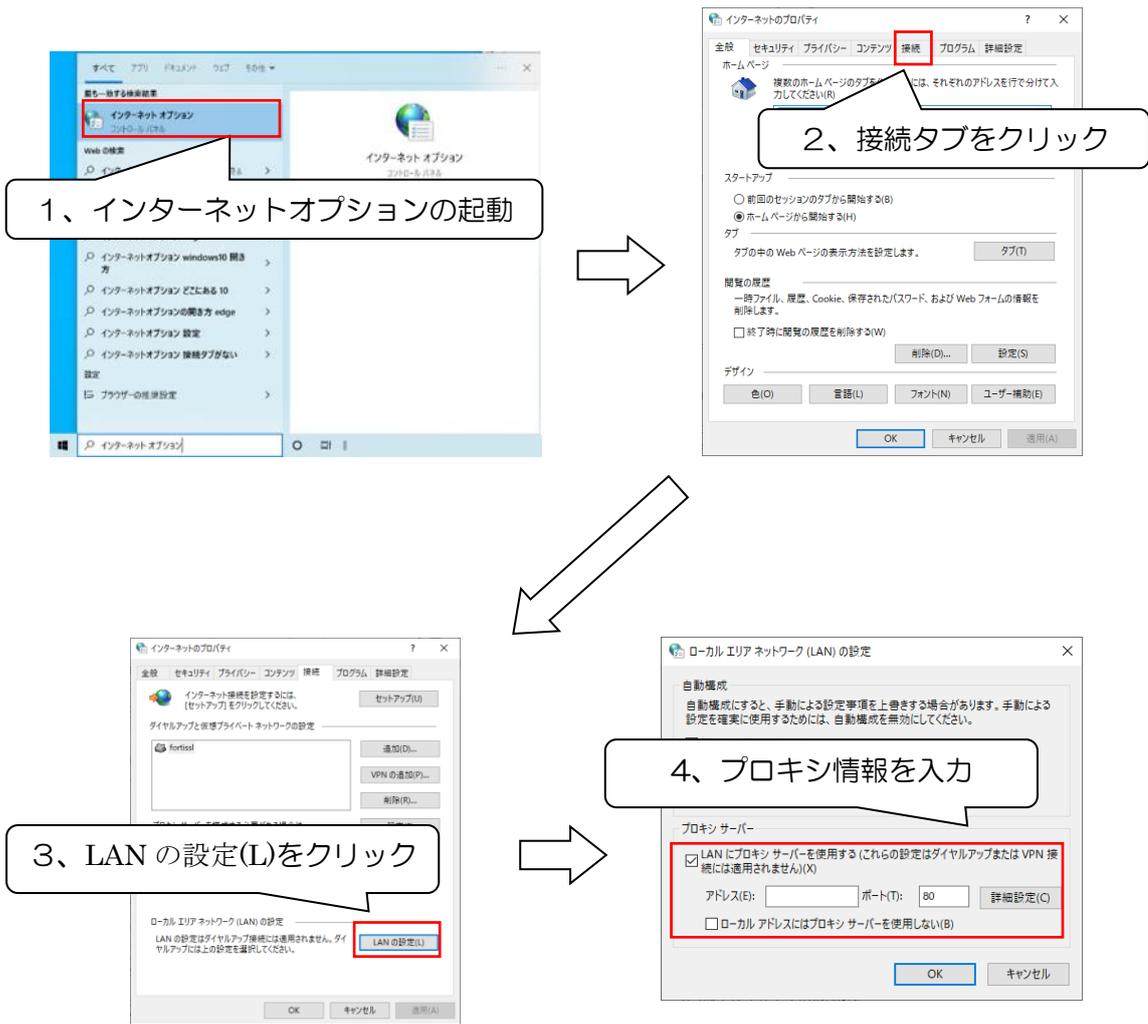


▶ Java のネットワーク設定を[ブラウザの設定を使用]に設定している場合

Java コントロールパネルの [ネットワーク設定] にて、[ブラウザの設定を使用] オプションを選択している場合はインターネットオプションでプロキシサーバー設定を下記の手順に沿って登録する必要があります。

※ システムの基幹となる Java の特性上 Java での設定が優先されます。詳細は Java コントロールパネルの[ネットワーク設定]を開いてご確認ください。

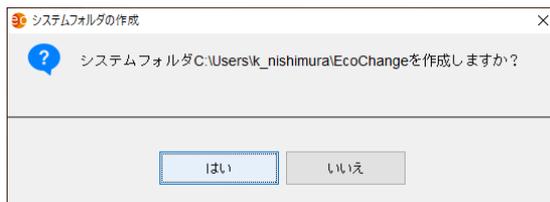
- Windows の検索バーで「インターネット オプション」と入力。検索結果にインターネット オプションが表示されたらクリック。
- インターネット オプションが立ち上がったら[接続]タブをクリック。
- [LAN の設定(L)]をクリック。
- [ローカルエリアネットワークの設定設定]ダイアログボックスで、[LAN 設定にプロキシサーバーを使用する]チェックボックスをオンにします。
- [アドレス(E)]、[ポート(T)]にプロキシ情報を入力。
- [OK]をクリック。



● システムフォルダの設定

ブラウザおよびバッチファイルから EcoChange を初めて起動すると、EcoChange の[システムフォルダ]指定を求められます。(ブラウザ起動時、またはバッチ起動のみ)。

- 表示されたフォルダで良い場合は、[はい]をクリック。
- フォルダを変更する場合は、[いいえ]をクリックし、ダイアログからフォルダを選択。
- [取消]をクリックすると、EcoChange の起動がキャンセルされます。



C:\Users\ユーザー名\EcoChange のフォルダがデフォルトとなります。



任意の場所にシステムフォルダを作成する場合は、表示されたダイアログから選択します。



システムフォルダ

EcoCHANGE の各種設定やログなどが保存・まとめられているフォルダ。

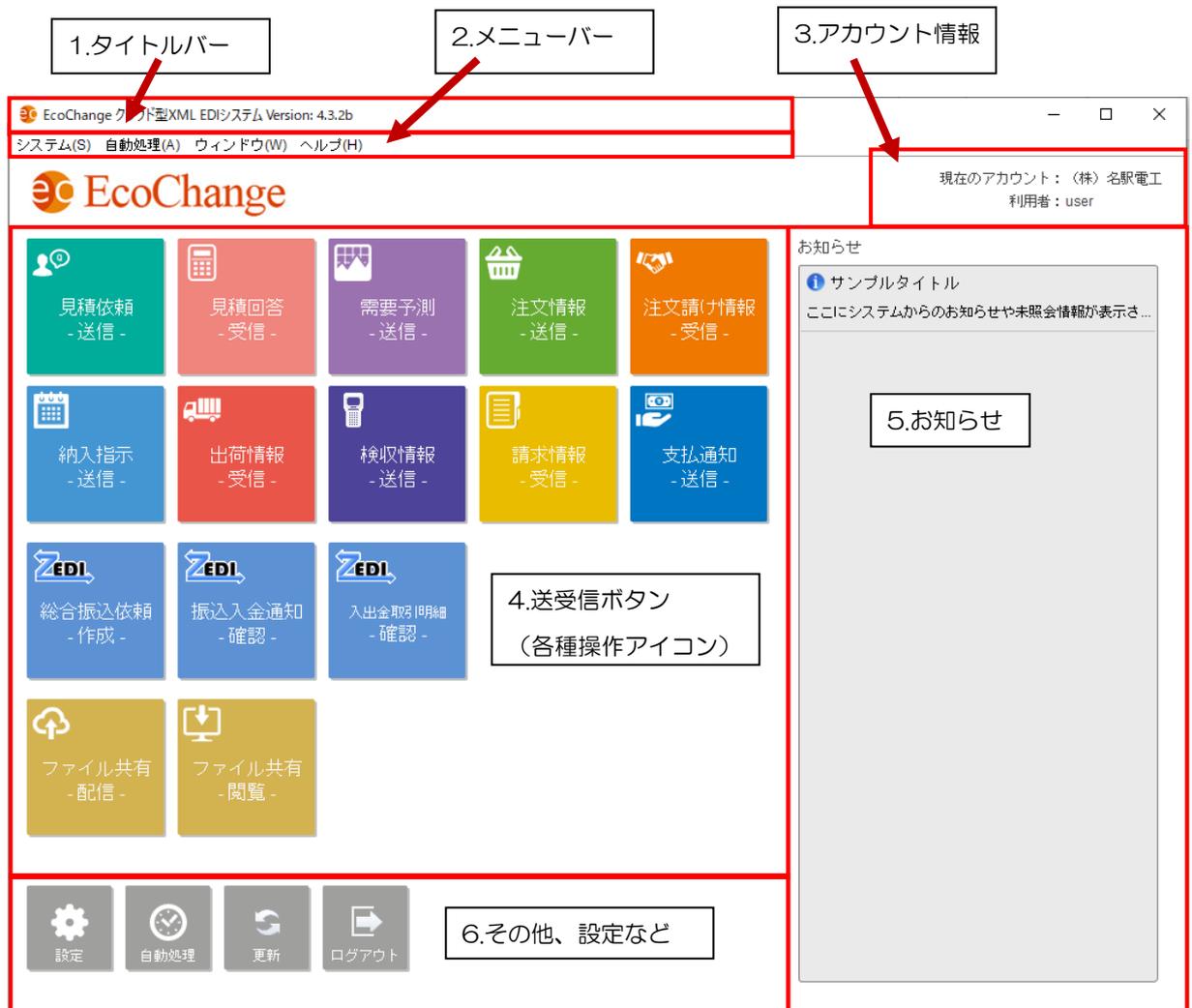
4

メインメニュー

メインメニューの画面構成を説明します。

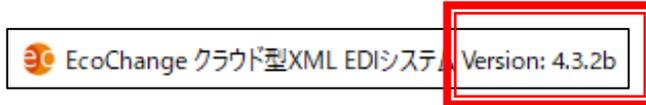
メインメニューは以下、6つの構成に分けることができます。

※ ご契約されている情報プロセスによってメインメニューの表示内容は変わります



4.1 タイトルバー

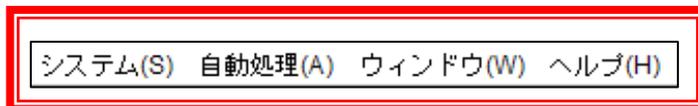
EcoChange のバージョンが表示されます。



4.2 メニューバー

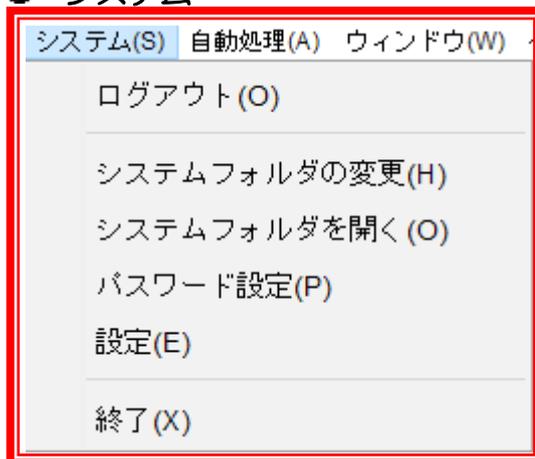
EcoChange の各システムメニューが利用できます。

● 各メニューについて



- [システム] : ログアウト、パスワード設定など、システム関連のメニュー
- [自動処理] : 自動処理関係のメニュー
- [ウィンドウ] : サブウィンドウ（注文など）の操作メニュー
- [ヘルプ] : ヘルプ「操作マニュアル PDF」を開く

● システム



- ログアウト : EcoChange からログアウトします（メインメニューと同じ）
- システムフォルダの変更 : 各種設定やログなどを保存する場所を変更します（ブラウザ起動時にのみ設定が可能です）
- システムフォルダを開く : 各種設定やログなどを保存する場所を開きます
- パスワード設定 : パスワードの変更を行います
- 設定 : EcoChange の設定をします（メインメニューと同じ）
- 終了 : EcoChange を終了します（メインメニューと同じ）

● 自動処理

自動処理(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

自動処理設定(P)
 自動処理を一括起動(G)
 稼働中の自動処理をアイコン化(I)
 稼働中の自動処理を一括停止(S)

見積依頼自動アップロード
 見積依頼自動EDIステータスチェック
 見積回答自動ダウンロード
 需要予測自動アップロード
 需要予測自動EDIステータスチェック
 注文情報自動アップロード
 注文情報自動EDIステータスチェック
 注文請け情報自動ダウンロード

- 自動処理設定 : 自動処理設定画面を起動します
- 自動処理を一括起動 : 自動処理を起動します (メインメニューと同じ)
- 稼働中の自動処理をアイコン化 : 実行中の自動処理画面を最小化します
- 稼働中の自動処理を一括停止 : 実行中の自動処理を終了します
- ○○自動アップロード : 指定した文書の自動アップロード処理を起動します
- ○○自動ダウンロード : 指定した文書の自動ダウンロード処理を起動します
- ○○自動 EDI ステータスチェック : 指定した文書の送受信状態確認を行います

※ 自動処理についての詳細は「[8 自動処理](#)」を参照してください

※ ご契約されている情報プロセスによって一覧の表示内容が変わります

例えば、ご契約されている情報プロセスが注文情報と注文請け情報の場合は、他の情報プロセスの項目は表示されません

4.3 アカウント情報

現在ログインしている、利用者の受発注識別とユーザーID を表示します。

現在のアカウント：(株)名駅電工
 利用者：user

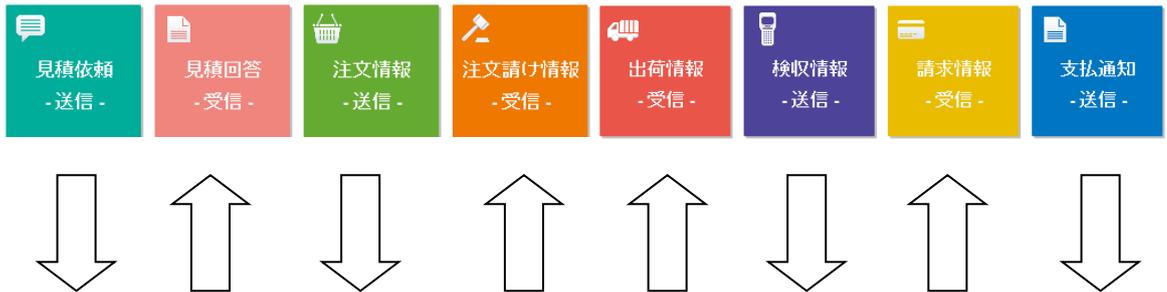
4.4 送受信ボタン

データの送受信を行う画面を開きます。

バイヤーとサプライヤーで、扱うデータの[送信][受信]が対となっています。

※ アカウントごとに必要なボタンのみを表示します

● バイヤー側



● サプライヤー側



● 画面遷移



4.5 ファイル共有ボタン

ファイルの配信・閲覧を行う画面を開きます。

※ 画面の詳細は「[6. ファイル共有画面](#)」をご参照ください。

● 画面遷移



4.6 ZEDI ボタン

ZEDI の操作を行う画面を開きます。

※ ZEDI をご契約されている場合のみ ZEDI ボタンは表示されます。

※ 画面の操作方法は「EcoChange4ZDEI スタートアップマニュアル」をご参照ください。

● 画面遷移

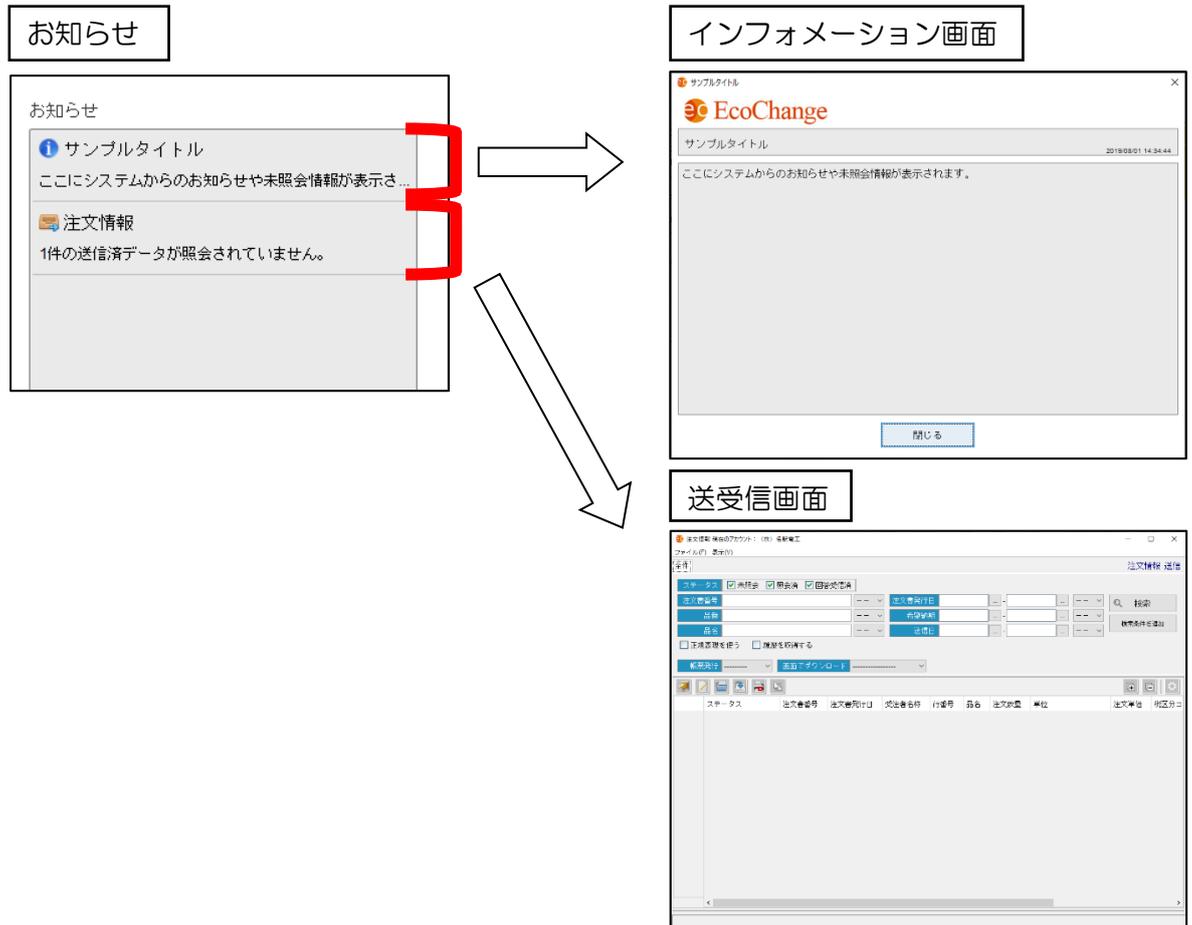


4.7 お知らせ

EcoChange から送受信したデータの未照会件数が表示されます。

また、システムの修正などを含む連絡も表示されます。

※ お知らせの表示にはリンクが貼られており、表示をクリックすることで内容を確認できます



4.8 その他、設定など

EcoChange の設定や自動処理の起動を行います。



● 各ボタン説明

- [設定] : EcoChange の設定画面を開きます
- [自動処理] : 自動処理を一括起動します
- [更新] : メインメニュー画面（お知らせエリア）を更新します
- [ログアウト] : EcoChange をログアウトします

5

送受信画面

相手企業と EDI 情報（注文情報、出荷情報など）を受受するための画面となります。Excel などのファイルを取り込んで、相手方に送信をしたり、また、受け取ったデータを閲覧することができます。

送受信画面の画面構成を説明します。

※ 情報種、バイヤー/サプライヤーに関わらず、送受信画面の挙動は同一となります

※ 送信/受信で使用可能なアクションに違いがあります

The screenshot shows the '注文情報 受信' (Order Information Reception) screen. The interface is divided into several functional areas, each highlighted with a red box and labeled with a callout:

- メニューバーエリア** (Menu Bar Area): Located at the top right of the window, containing standard window controls (minimize, maximize, close).
- 検索条件設定エリア** (Search Condition Setting Area): The top section of the main content area, featuring search filters for '注文書番号' (Order Number), '品名' (Product Name), '注文書発行日' (Order Issue Date), '希望納期' (Desired Delivery Date), '受領日' (Receipt Date), and '取引店舗' (Trading Partner). It includes a search button and a '検索条件を追加' (Add Search Condition) button.
- アクションボタンエリア (各種操作アイコン)** (Action Button Area (Various Operation Icons)): A row of buttons below the search area, including '標準発行' (Standard Issue), '画面でダウンロード' (Download on Screen), and '自動ダウンロード' (Automatic Download).
- データ表示エリア** (Data Display Area): The main table area at the bottom, displaying a list of orders with columns for 'ステータス' (Status), '注文書番号' (Order Number), '注文書発行日' (Order Issue Date), '発注者名称' (Orderer Name), '行番号' (Line Number), '品名' (Product Name), '注文数量' (Order Quantity), '単位' (Unit), '注文単価' (Order Unit Price), '税区分コード' (Tax Division Code), '明細金額 (税込み)' (Detailed Amount (Tax Inclusive)), and '希望納期' (Desired Delivery Date).

5.1 メニューバー

送受信画面の調整・設定を行います。



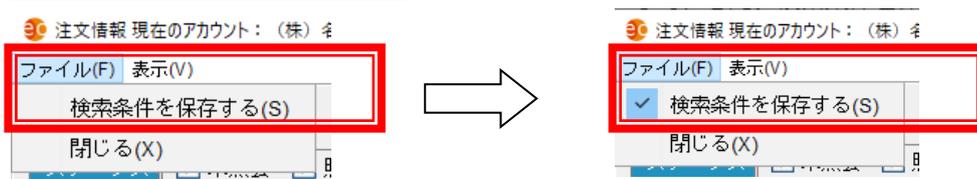
● 各メニューについて

- [ファイル]：自画面の操作に関するメニュー
- [表示]：自画面の表示に関するメニュー

● ファイル

- 検索条件を保存する：選択（）している間、検索条件を保持します
- 閉じる：送受信画面を閉じます

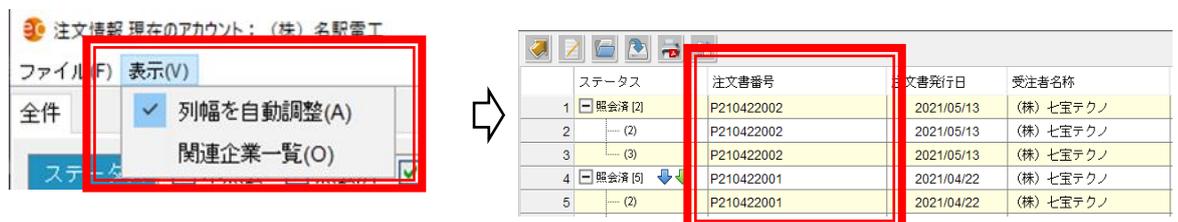
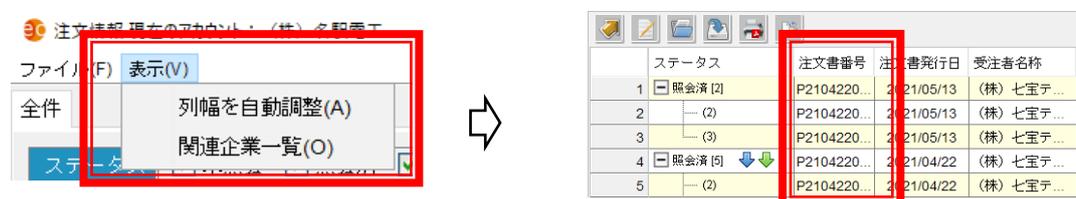
検索条件の保存



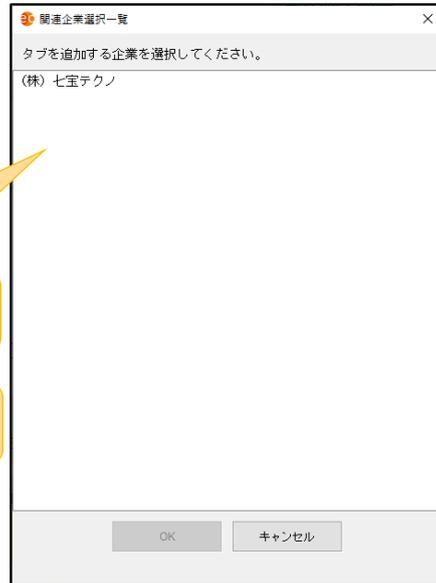
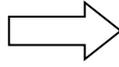
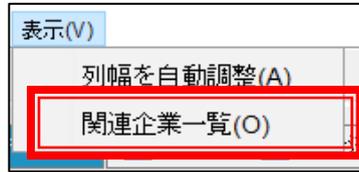
● 表示

- 列幅を自動調整：選択（）した状態で検索を行うと表示幅が自動的に調整されます
- 関連企業一覧：送受信する対象を指定するタブを増やします

列幅自動調整

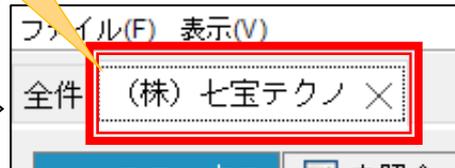
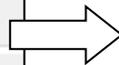


関係企業一覧



1、送受信対象とする企業を選択

2、選択した企業のタブが増える



全ての企業が検索対象

タブ名の企業のみ検索対象



タブの表示情報

追加したタブには対象企業の情報を表示します。
追加したタブは次回ログイン時也表示します。

5.2 検索条件設定エリア

このエリアでは、送受信データの絞り込み条件を指定することができます。絞り込まれた情報は画面下部のデータ表示エリアに表示されます。

● ステータス

- 送受信データのステータスを検索条件とします。
- チェックボックスがすべて空欄の場合、全ステータスが検索対象となります。
- 関連するメッセージ種により表示条件が変わります。

(送信側の表示条件)

[未送信]：自企業がデータを取り込んだが未送信

[未照会]：相手企業がデータを受信したが未照会

[照会済]：相手企業が受信したデータを照会済み

[回答受信済]：相手企業が回答データを送信済み

[〇〇済]：相手企業が受信したデータを元に関連するアクションを実行済み

ステータス	<input checked="" type="checkbox"/> 未照会	<input checked="" type="checkbox"/> 照会済	<input type="checkbox"/> 出荷済
-------	---	---	------------------------------

(受信側の表示条件)

[未照会]：自企業がデータを受信したが未照会

[照会済]：自企業がデータを受信したデータを照会済み

[回答送信済]：自企業が受信したデータの回答データを送信済み

[〇〇済]：自企業が受信したデータを元に関連するアクションを実行済み

ステータス	<input checked="" type="checkbox"/> 未照会	<input checked="" type="checkbox"/> 照会済	<input type="checkbox"/> 出荷済
-------	---	---	------------------------------

● 検索条件の指定

- 対象画面の Key 情報となる項目が検索条件として画目に表示されています。
- 検索値と昇順降順の指定ができます。

注文書番号	--	注文書発行日	---	-	---	---	---	検索
品番	--	希望納期	---	-	---	---	---	検索条件を追加
品名	--	受信日	---	-	---	---	---	
		取引金額	-	-	---	---	---	

● 正規表現を使う

- をすると、検索条件に正規表現を使用できます。

● 補足) 正規表現パターン例

- 正規表現を使用した検索を例示します。
※ 正規表現の詳細は、各専門文書を参照ください

注文番号の最後が **001** になっているものを検索 入力値：**001\$**

注文書番号	001\$	⇒	注文書番号
品番			ORDER-1434134989-001
品名			ORDER-1427041504-001
<input checked="" type="checkbox"/> 正規表現を使う			ORDER-1420131167-001

注文番号の先頭が **11** から開始のものを検索 入力値：**^11.***

注文書番号	^11.*	⇒	注文書番号
品番			11-123-AAA-991
品名			11-123-AAA-990
<input checked="" type="checkbox"/> 正規表現を使う			11-123-AAA-989

注文番号に **123** が含まれているものを検索 入力値：**123.***

注文書番号	123.*	⇒	注文書番号
品番			82-123-BBB-502
品名			82-123-BBB-501
<input checked="" type="checkbox"/> 正規表現を使う			82-123-BBB-500
			81-123-AAA-991
			81-123-AAA-990
			81-123-AAA-989

● 履歴を取得する

- をすると、履歴を取得できます。

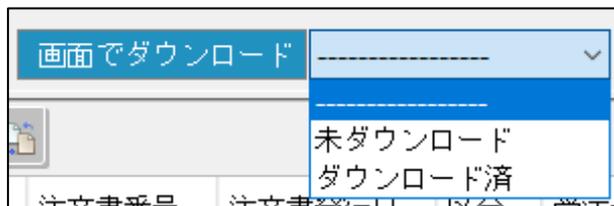
● 帳票発行

- 帳票発行ステータスをキーに検索を行います。
- [未発行] : 自企業が帳票発行していないものを対象とします
- [発行済] : 自企業が既に帳票発行したものを対象とします



● 画面でダウンロード

- ダウンロードステータスをキーに検索を行います。
- 画面（手動）からダウンロードしたデータが対象となります。
- [未ダウンロード] : 自企業がダウンロードしていないものを対象とします
- [ダウンロード済] : 自企業が既にダウンロードしたものを対象とします



● 自動ダウンロード

- 自動ダウンロードステータスをキーに検索を行います。
- 自動ダウンロードをしたデータが対象となります。
- [未ダウンロード] : 自企業が自動ダウンロードしていないものを対象とします
- [ダウンロード済] : 自企業が既に自動ダウンロードしたものを対象とします
- [ロック中(復旧用)] : 自動ダウンロードに失敗したデータを対象とします



● 検索条件の追加

- 検索条件を任意で追加する画面を表示します。
- [正規表現を使う] : をすると、検索条件に正規表現を使用できます
- [AND 検索を行う] : をすると、検索条件を AND 条件で指定できます
- [OR 検索を行う] : をすると、検索条件を OR 条件で指定できます
- [条件 1-9] : 検索条件として指定する項目を選択します

その他の検索条件

その他の検索条件を指定してください

正規表現を使う AND検索を行う OR検索を行う

条件 1	-----	▼	
条件 2	-----	▼	
条件 3	-----	▼	
条件 4	-----	▼	
条件 5	-----	▼	
条件 6	-----	▼	
条件 7	-----	▼	
条件 8	-----	▼	
条件 9	-----	▼	

クリア OK キャンセル

5.3 アクションボタンエリア

データ表示エリアで選択した情報に対し、各ボタンで送信・印刷などのアクションを行います。画面ごとにボタンの表示制御が行われます。(受信画面では送信ボタンは表示されない等)



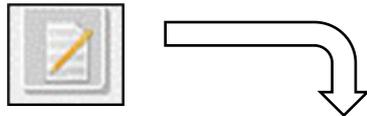
● 送信ボタン

- データ表示エリアで選択したデータを相手企業に送信します。



● 詳細表示・編集ボタン

- データ表示エリアで選択したデータの編集ダイアログを開きます。



注文情報入力
送信者ID: user

注文情報入力
企業情報入力
注釈入力
送信コメント入力

注文書番号 P210422002 注文情報を編集しています

注文書番号	P210422002
注文書発行日	2021/05/13
区分	3.取消
注文書改定日	
注文履歴番号	
納入先コード	
納入先名称	
代表納期	2021/05/20
税額1	
合計金額(税抜き)1	
税区分コード1	
税率1	
合計金額(税込み)1	
税計算方式1	

受注側企業情報
 (株) 七宝テクノ (DEMO20002)
 450-0003

行番号	注文明細注釈内容1	注文単価	注文数量	単位	希望納期	納入場所コード	納入場所名称	明細
1		60,000	1	式	2021/05/20			
2		40,000	1	式	2021/05/20			
3		50,000	10	機	2021/05/20			

前へ
次へ
更新
リセット
閉じる

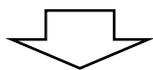
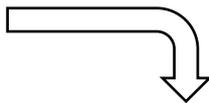
● 読込ボタン

- 他システムなどで用意したデータをデータ表示エリアに取り込みます。
※ 取込データの並び順がデータマッピング設定と同じ必要があります

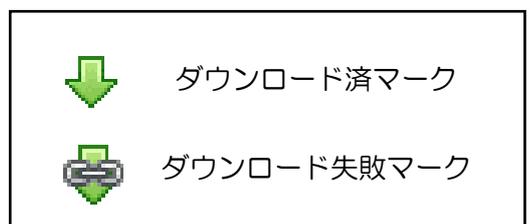


● ダウンロードボタン

- データ表示エリアで選択したデータをダウンロードします。
- ダウンロードが正常に終了するとダウンロード済マークを表示します。
- ダウンロード時に障害が発生した場合はダウンロード失敗マークを表示します。

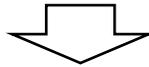


ステータス	
出荷済	
出荷済 [3]	
出荷済 [2]	

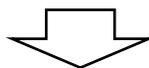


● 帳票発行ボタン

- データ表示エリアで選択したデータを帳票（PDF）出力します。
- 帳票は予め登録した帳票レイアウトとなります。
- 帳票出力が終了すると帳票出力済マークを表示します。
- 帳票利用設定を行うと、帳票発行ボタンは表示されます。



NO	品名	注文内容	数量	単価	納期
1	EcoChangeSIPSS.1年間ライセンス		1	60,000	2018-/01-
2	Mobile EcoChangeオプション		1	40,000	2018-/01-
3	無線 System IoTユニット		10	50,000	2018-/01-



	ステータス	納入先	納入先名称	納入先工区	納入先工場名
1	照会済 	4278	発注ニュー	01	本社
2	照会済 	4		01	本社
3	照会済 	4278	発注元1	01	本社
4	照会済 	3230	エンド企業A	60	新川

帳票出力済アイコン

● データ変換作成ボタン

- データ表示エリアで選択したデータを元に、関連するデータを作成します。

※ 関連するデータの例

注文情報 → 出荷情報

出荷情報 → 検収情報 e t c...



注文情報 変換作成
×

変換元データ種 **見積依頼**
 変換済みを含める
 回答済みを含める

企業名 **全て**
▼

見積依頼書番号

--
▼

見積依頼書発行日

...
-

--
▼

品番

--
▼

希望納期

...
-

--
▼

品名

--
▼

送信日

...
-

--
▼

正規表現を使う

帳票発行

画面でダウンロード

すべて選択

	注文書...	注文書...	受注者...	行番号	品名	注文数量	単位	注文単価	税区分...	希望納期	品目摘要	注文明...
(Empty table area)												

<
>

変換

閉じる

● データ分割ボタン

- データ表示エリアで選択したデータを分割する分割編集画面を開きます



注文請求情報分割

注文請求情報

注文回答書番号 2021025-AS-0004 分割状態 0

税率1		税率1 合計税額	
税率2		税率2 合計税額	
合計税額	1,000	総合計金額	11,000
合計金額	11,000	税込合計金額	11,000

分割

行番号	回答理由区分	品番	品名	注文単価	回答単価	注文数量	回答数量	入り数	希望納期
1		KARIYA-DDD4	テストD	1,000	1,000	10	10		2021/05/28

分割前注文請求情報

注文回答書番号 2021025-AS-0004 分割状態 1 同時に送信を行う。

税率1		税率1 合計税額	
税率2		税率2 合計税額	
合計税額	1,000	総合計金額	11,000
合計金額	11,000	税込合計金額	11,000

取り消し

行番号	回答理由区分	品番	品名	注文単価	回答単価	注文数量	回答数量	入り数	希望納期	希望納入時間
-----	--------	----	----	------	------	------	------	-----	------	--------

登録 閉じる



ステータス	
1	未送信 
2	未送信 

分割済みアイコン

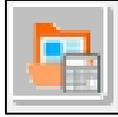
● データ削除（未送信分）ボタン

- データ表示エリアで選択した送信前のデータ（分割のみ実施など）を削除します。
※ 既に送信されているデータは削除できません



● **入金消込ボタン**

- 金融 EDI 情報と突合することで請求情報の消し込みを行います
※EcoChange for ZEDI（金融 EDI 連携）で使用する機能です。詳細は別紙参照



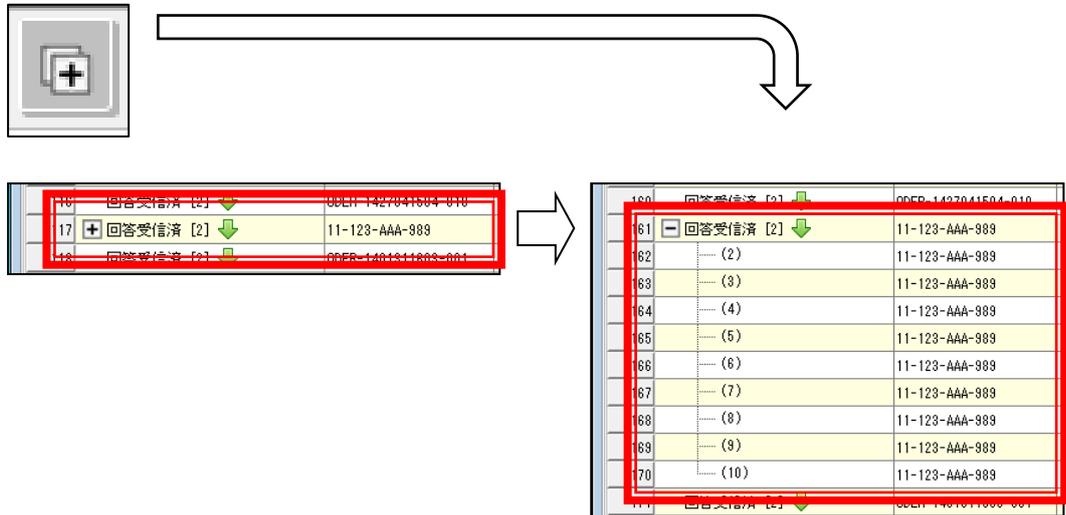
● **総合振込依頼済フラグクリアボタン**

- 選択されている総合振込依頼を再作成可能にします
※EcoChange for ZEDI（金融連携）で使用する機能です。詳細は別紙参照



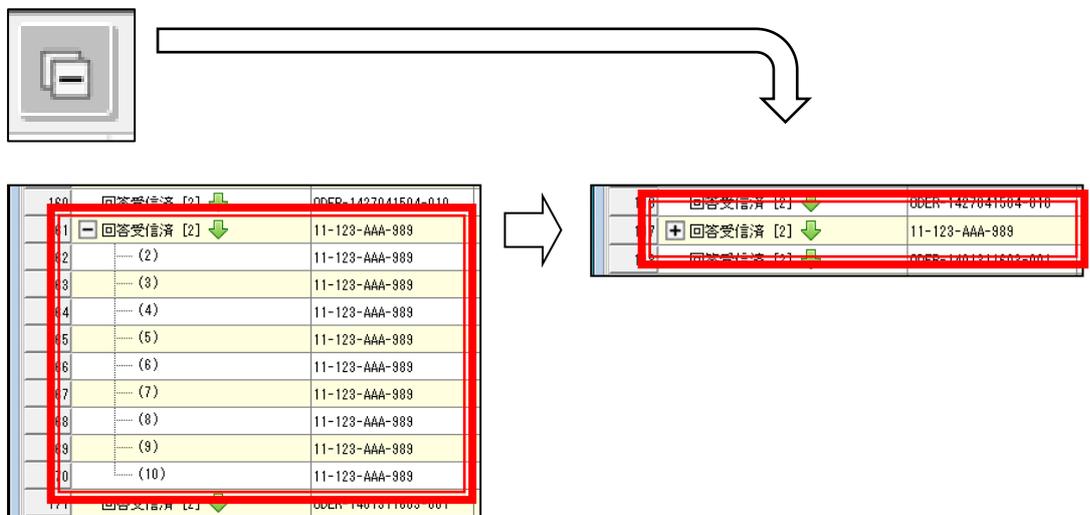
● 展開ボタン

- データ表示エリア上で明細を含む行を展開します。



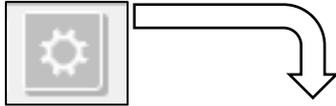
● 省略ボタン

- データ表示エリア上で明細を含む行を省略します。



● 表示列設定ボタン

- データ表示エリアに表示する列情報を設定します。
- チェックボックスのON/OFF による表示切替ができます。
- 対象行をドラック&ドロップすることで並び替えが行えます。



一覧表示列指定

補足項目を表示する

	表示	項目名	列ヘッダー表示	列幅
1	<input checked="" type="checkbox"/>	注文書番号	注文書番号	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	注文書発効日	注文書発行日	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	発注者コード	発注者コード	
4	<input checked="" type="checkbox"/>	発注者名称	発注者名称	
5	<input checked="" type="checkbox"/>	製品摘要	品目摘要	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	注文数量	注文数量	
7	<input checked="" type="checkbox"/>	注文数量_単位コード	数量単位名	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	注文単価	注文単価	
9	<input checked="" type="checkbox"/>	消費税率	消費税率	
10	<input checked="" type="checkbox"/>	要求納入日	要求納入日	
11	<input type="checkbox"/>	注文書名		
12	<input type="checkbox"/>	注文書タイプコード		
13	<input type="checkbox"/>	注文書発効日_日時様式		
14	<input type="checkbox"/>	注文状態区分コード		
15	<input type="checkbox"/>	注文書改定日		
16	<input type="checkbox"/>	注文履歴番号		
17	<input type="checkbox"/>	注文注釈表題1		
18	<input type="checkbox"/>	注文注釈内容1		

並べ替え 保存 キャンセル

5.4 データ表示エリア

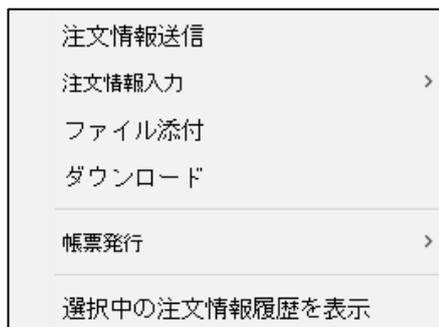
検索/取込データを一覧表示します。

データをダブルクリックすることで編集ダイアログが開けます。

データを右クリックすることで送信・印刷などのアクションを行えます。

● 右クリックメニュー

- ○○情報送信 : 選択したデータを相手企業に送信します
- ○○情報入力 : 選択したデータの編集ダイアログを開きます
- ファイル添付 : 選択したデータにファイル添付します
- ダウンロード : 選択したデータをダウンロードします
- 帳票発行 : 選択したデータを帳票（PDF）出力します
- 選択中の○○情報履歴を表示 : 選択したデータの履歴情報を表示します



5.5 編集ダイアログ

送信側は編集ダイアログにてデータ編集を行えます。

タブ切替により各項目の編集を行えます。

※ 複数の情報を選択して編集ダイアログを開いた場合、一部の入力フィールドが制限されます。

● ○○情報入力タブ

- データの編集を行えます。



ヘッダー表示・編集項目画面

表示	項目名	列ヘッダー表示	編集可	列幅
<input checked="" type="checkbox"/>	注文番号	行番号	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	注文番号	品番	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	注文日	納期	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	注文数量	希望納期	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	入力数	希望納入時間	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	請求納入日	希望納入時間	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	請求納入時間	希望納入時間	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	納入場所コード		<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	納入場所名称		<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	税率	税率	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	税額	税額	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	注文明細コード		<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	注文明細変更理由コード		<input checked="" type="checkbox"/>	

一覧表示列指定画面

表示	項目名	列ヘッダー表示	編集可	列幅
<input checked="" type="checkbox"/>	注文明細主番号	行番号	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	品名	品番	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	注文数量		<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	入力数		<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	請求納入日	希望納期	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	請求納入時間	希望納入時間	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	納入場所コード		<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	納入場所名称		<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	税率	税率	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	税額	税額	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	注文明細コード		<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	注文明細変更理由コード		<input checked="" type="checkbox"/>	

- ヘッダー表示・編集項目画面

ヘッダーエリアに表示する情報を設定します
 チェックボックスの ON/OFF による表示切替ができます
 対象行をドラック&ドロップして並び替えが行えます

- 一覧表示指定画面

一覧エリアに表示する情報を設定します
 チェックボックスの ON/OFF による表示切替ができます
 対象行をドラック&ドロップして並び替えが行えます

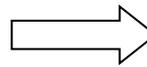
● 企業情報入力タブ

- 企業情報の編集を行えます。

▶ 企業情報入力タブ 入力設定方法

ヘッダー表示・項目編集画面を開いて、企業情報入力タブにて編集を行いたい項目の[表示]列の を外して、[データタイプ]を項目の値のタイプに合わせて選択します。

※ [表示]列の を外すと、対象の項目は注文情報入力タブに表示されなくなります



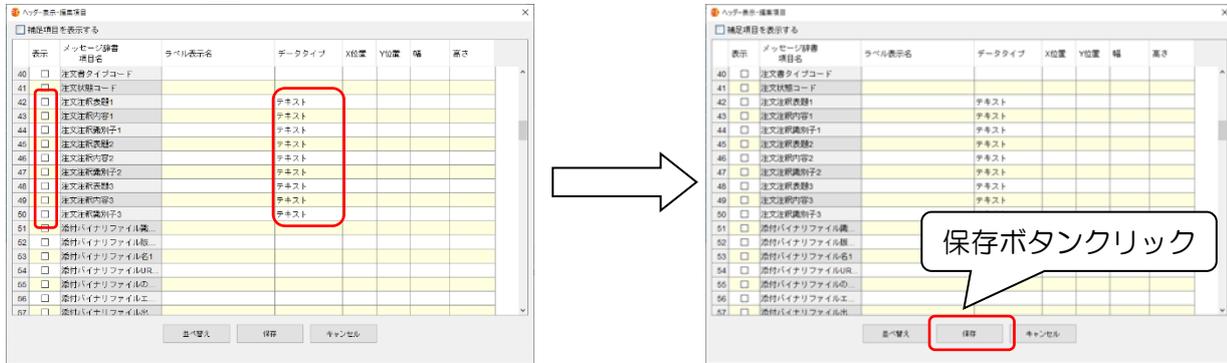
● 注釈入力タブ

- 注釈の編集を行えます。

▶注釈入力タブ 入力設定方法

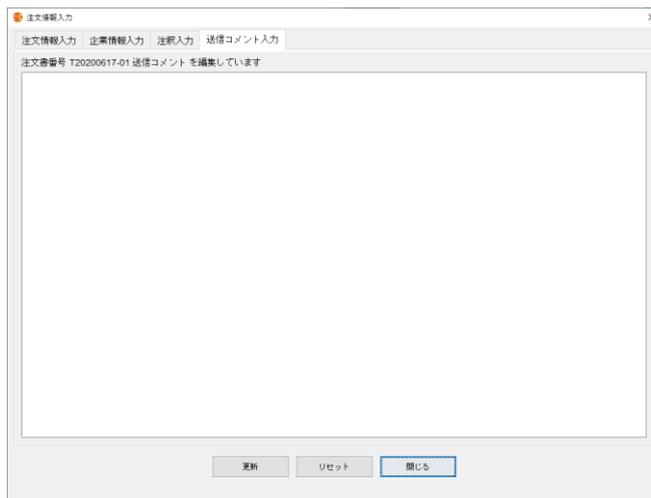
ヘッダー表示・項目編集画面を開いて、注釈入力タブにて編集を行いたい項目の[表示]列の を外して、[データタイプ]を項目の値のタイプに合わせて選択します。

※ [表示]列の を外すと、対象の項目は注文情報入力タブに表示されなくなります



● 送信コメント入力タブ

- 送信コメントの編集を行えます。



6

ファイル共有画面

ファイル共有画面の説明をします。

EcoChange を利用してファイルを取引企業とやり取りします。ファイル共有画面には2種類あり、

- ・「[5.1 ファイル共有 配信画面](#)」から、対象のファイルをアップロードする〔配信画面〕
- ・「[5.12 ファイル共有 閲覧画面](#)」から、自身宛に送信されたファイルを確認する〔閲覧画面〕

をそれぞれ記述します。



6.1 ファイル共有 配信画面

EcoChange のサーバーにファイルをアップロードして、相手企業にファイルを配信する画面になります。Excel や PDF などのファイルを取り込むことができます。

また、自身がアップロードしたファイルの確認も本画面で行います。

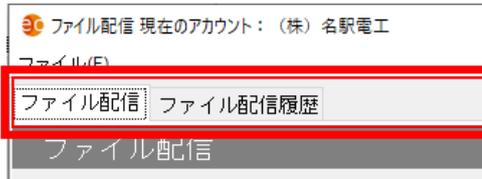


6.2 配信画面：ファイル配信画面のタブ説明

ファイル配信画面内の表示を切り替えます。配信と履歴で機能ごとに

- 対象のファイルをアップロードする[ファイル配信]タブ
- アップロード履歴を確認する[ファイル配信履歴]タブ

があります。



● ファイル配信タブ

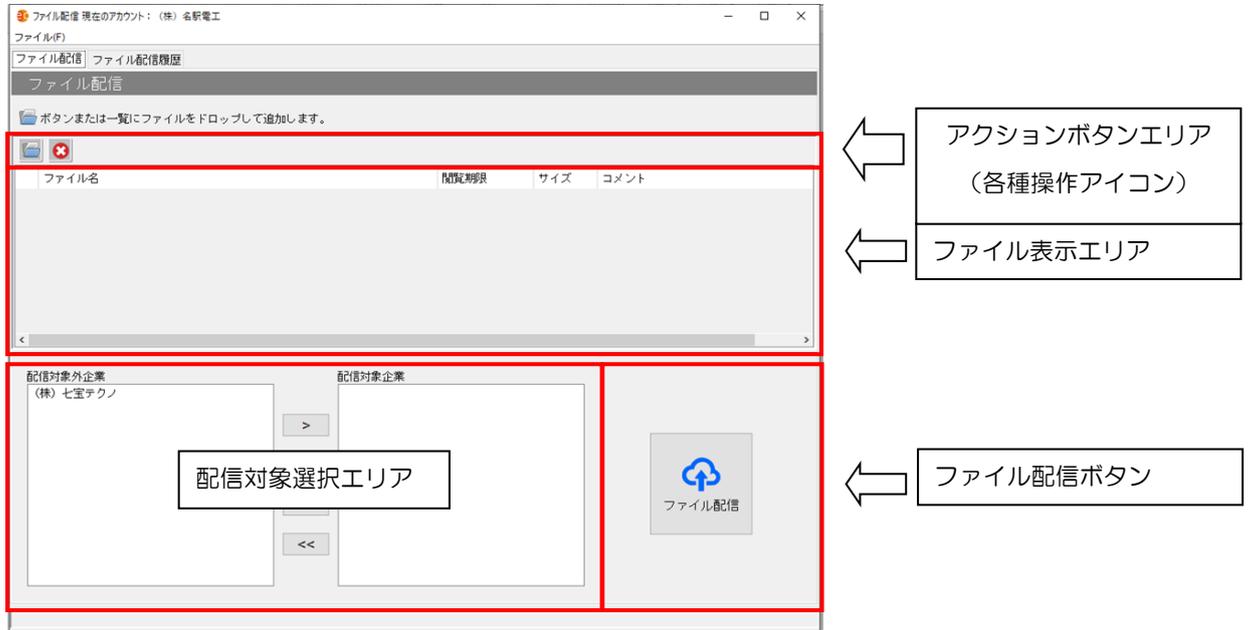


● ファイル配信履歴タブ



6.3 配信画面：ファイル配信タブ

ファイル共有 配信タブの画面構成を説明します。



6.4 配信画面 ファイル配信タブ：アクションボタンエリア

ファイル表示エリアに対し、読込・削除のアクションを行います。



● 読込ボタン

- 配信したいファイルをファイル表示エリアに取り込みます。



● 削除（未配信分）ボタン

- ファイル表示エリアで選択した配信前のファイルを、削除します。
※ 既に配信されているファイルは削除できません



6.5 配信画面 ファイル配信タブ：ファイル表示エリア

取り込んだファイルを一覧表示し、閲覧期限とコメントの編集を行います。

● 表示項目

ファイル名	閲覧期限	サイズ	コメント
1 D:\注文情報\発注伝票.xlsx	2020/11/13	10KB	

- ファイル名 : 取り込んだファイルの名称が表示されます
- 閲覧期限 : ファイルの閲覧期限を設定することができます
- サイズ : 取り込んだファイルのサイズが表示されます
- コメント : ファイルにコメントを添えることができます

● 右クリックメニュー（一覧上で右クリック）

- 一覧から削除 : ファイルを一覧から削除します



6.6 配信画面 ファイル配信タブ：配信対象選択エリア

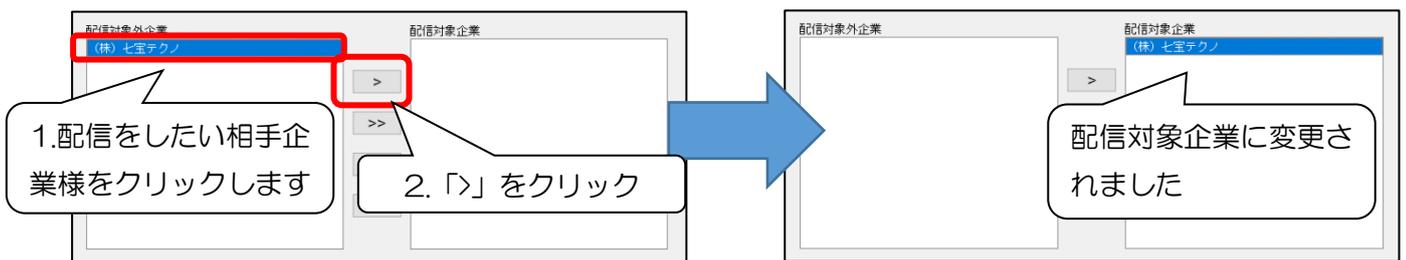
ファイルを配信する相手企業を選択します。

配信可能な相手企業は、EcoChange で取引設定を行っている企業となります。

- 配信対象外企業 : 取引のある企業一覧が表示されます。配信の対象に選択すると一覧から削除されます
- 配信対象企業 : 配信を行う企業を指定します

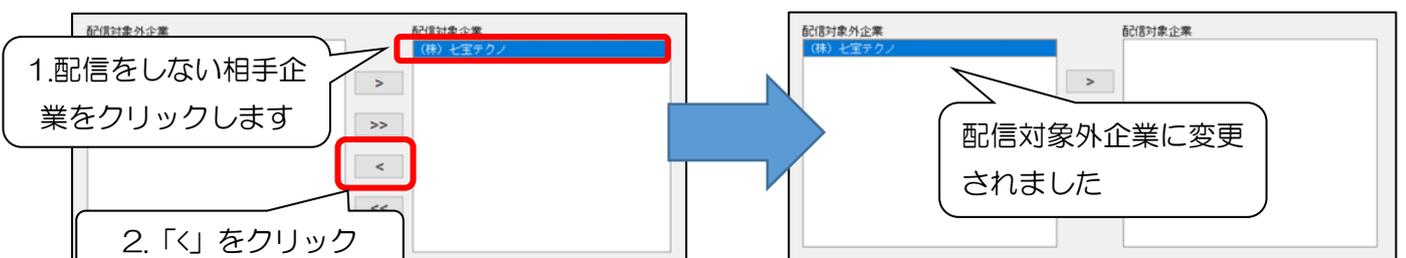
● 配信対象企業への変更

※ 「>>」押下で、取引のある全ての企業が配信の対象に変更することもできます。



● 配信対象外企業への変更

※ 「<<」押下で、全ての配信対象をクリアすることもできます。



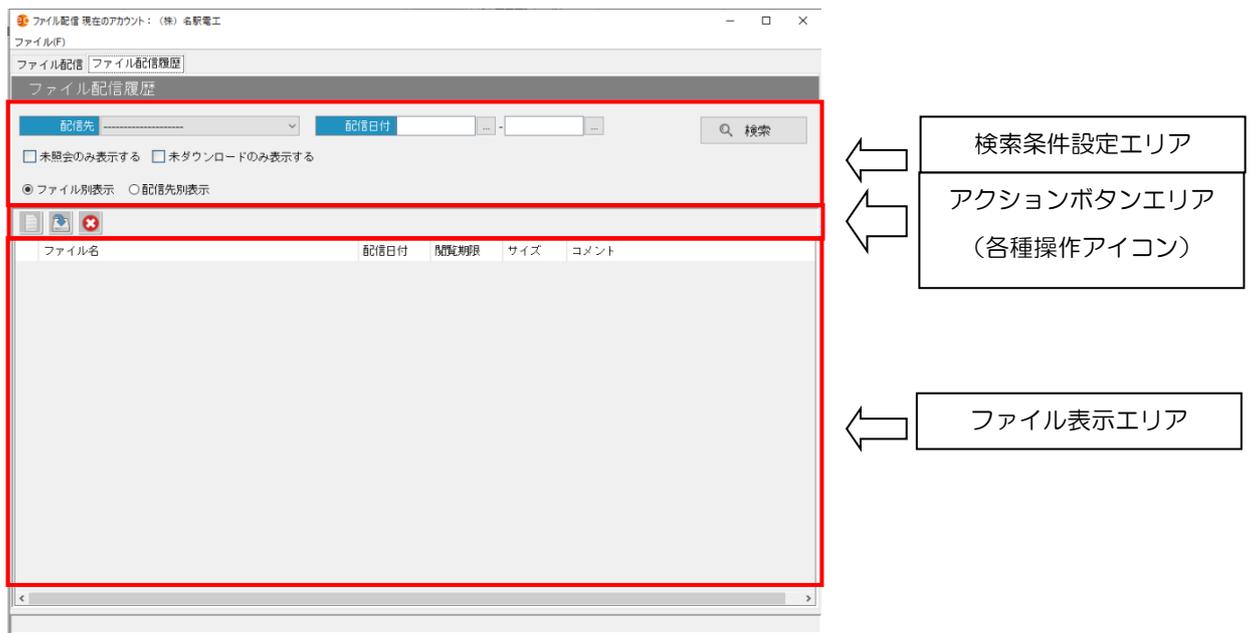
6.7 配信画面 ファイル配信タブ：ファイル配信ボタン

選択した相手企業にファイルを配信します。



6.8 配信画面 ファイル配信履歴タブ

ファイル共有 配信履歴タブの画面構成を説明します。



6.9 配信画面 ファイル配信履歴タブ：検索条件設定エリア

自身が配信したファイルの検索条件を指定します。

配信先 [-----] 配信日付 [] - []

未照会のみ表示する 未ダウンロードのみ表示する

ファイル別表示 配信先別表示

検索

● 検索条件の指定

- 配信先 : 配信先の企業を条件に指定します
- 配信日付 : 配信した日付を条件に指定します

配信先 [-----] 配信日付 [] - []

● 未照会のみ表示する

- をすると、配信先の企業が未照会のファイルのみを条件に指定します。

● 未ダウンロードのみ表示する

- をすると、配信先の企業が未ダウンロードのファイルのみを条件に指定します。

● 表示方法の選択

- ファイル別表示 : アップロードしたファイルを一覧表示します
- 配信先別表示 : アップロードしたファイルを配信先毎に並べ替えて表示します

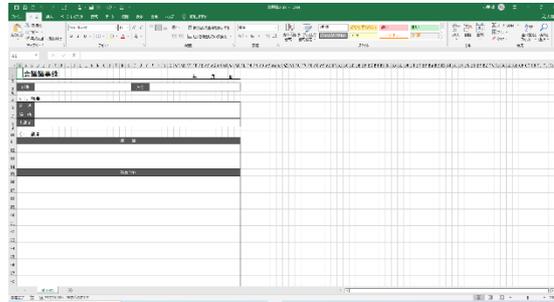
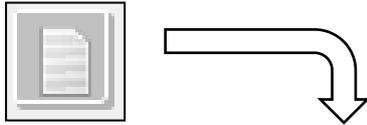
6.10 配信画面 ファイル配信履歴タブ：アクションボタンエリア

ファイル表示エリアに対し、表示・削除などのアクションを行います。



● 詳細表示ボタン

- データ表示エリアで選択したファイルを開きます。



● ダウンロードボタン

- データ表示エリアで選択したファイルをダウンロードします。



● 削除ボタン

- ファイル表示エリアで選択したファイルを、サーバー上から削除します。
- 削除後は、配信先も閲覧及びダウンロードができなくなります。



6.11 配信画面 ファイル配信履歴タブ：ファイル表示エリア

検索条件設定エリアで指定した条件に合致するファイルを一覧表示します。

● 表示項目

▶ ファイル別表示の場合

ファイル名	閲覧期限	サイズ	コメント
1 D:\注文情報\発注伝票.xlsx	2020/11/13	10KB	

- ファイル名 : 配信したファイルの名称が表示されます
- 閲覧期限 : 配信したファイルに設定した閲覧期限が表示されます
- サイズ : 配信したファイルのサイズが表示されます
- コメント : 配信したファイルに添付したコメントが表示されます

▶ 企業別表示の場合

ファイル名	配信日付	閲覧期限	サイズ	配信先	照会日付	ダウンロード
1 発注伝票.xlsx	2020/12/01	2020/12/15	10KB	(株)七宝テクノ	2020/12/01	2020/12/01

- ファイル名 : 配信したファイルの名称が表示されます
- 配信日付 : 配信したファイルの日付が表示されます
- 閲覧期限 : 配信したファイルに設定した閲覧期限が表示されます
- サイズ : 配信したファイルのサイズが表示されます
- 配信先 : ファイルの配信先が表示されます
- 照会日付 : 配信先がファイルを照会した日付が表示されます
- ダウンロード : 配信先がファイルをダウンロードした日付が表示されます

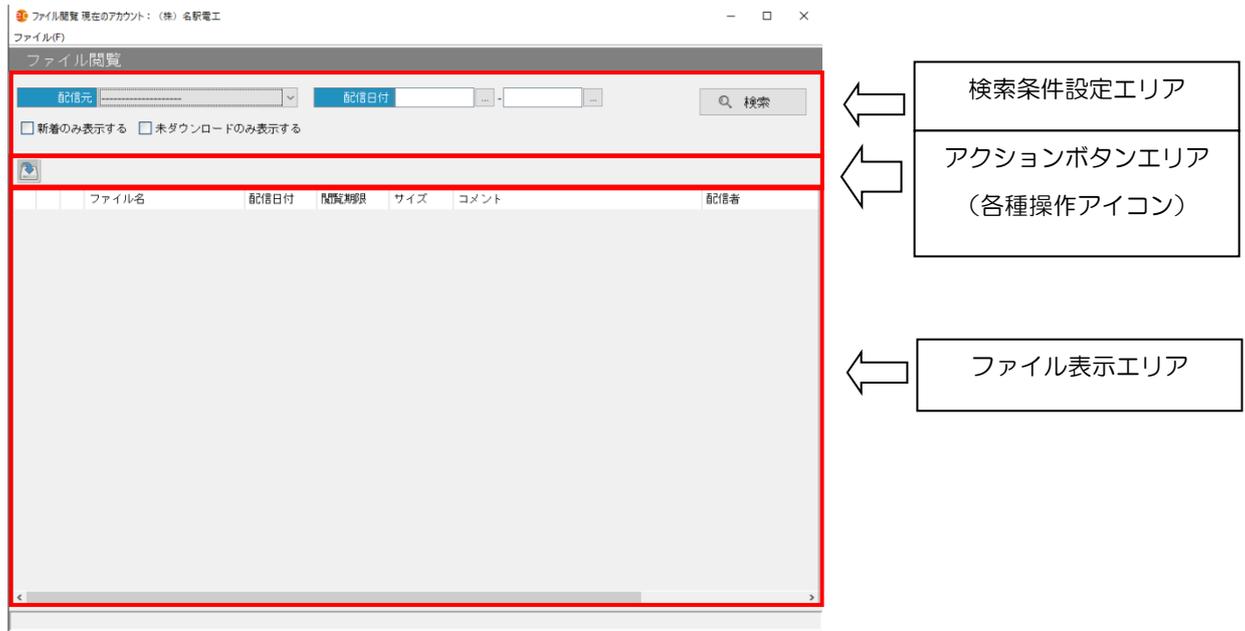
● 右クリックメニュー（一覧上で右クリック）

- ファイルを開く : 選択したファイルを表示します
- ダウンロード : 選択したファイルをダウンロードします
- 削除 : 選択したファイルを削除します

ファイルを開く ダウンロード 削除

6.12 ファイル共有 閲覧画面

相手企業が EcoChange サーバーにアップロードしたファイルを確認、閲覧するための画面となります。配信された Excel や csv などのファイルの内容を閲覧することができます。
ファイル共有閲覧画面の画面構成を説明します。



6.13 閲覧画面：検索条件設定エリア

配信されたファイルの検索条件を指定します。

● 検索条件の指定

- 配信元 : 配信元の企業を条件に指定します
- 配信日付 : 配信された日付を条件に指定します

● 新着のみ表示する

- をすると、未照会のファイルのみを条件に指定します。

● 未ダウンロードのみ表示する

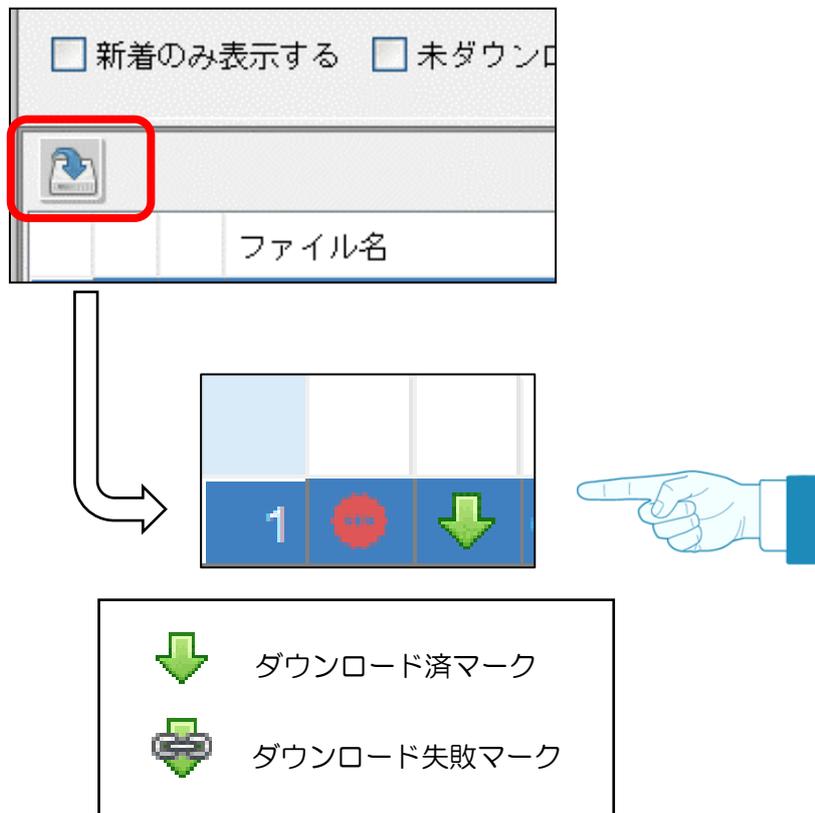
- をすると、ダウンロードを行っていない配信ファイルのみを条件に指定します。

6.14 閲覧画面：アクションボタンエリア

ファイル表示エリアで選択したファイルをダウンロードします。

● ダウンロードボタン

- ファイル表示エリアで選択したファイルをダウンロードします。
- ダウンロードが正常に終了するとダウンロード済マークが表示されます。
- ダウンロード時に障害が発生した場合はダウンロード失敗マークを表示されます。



6.15 閲覧画面：ファイル表示エリア

検索条件設定エリアで指定した条件に合致するファイルを一覧表示します。

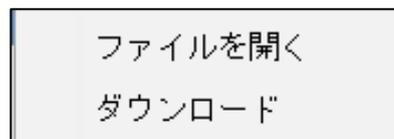
● 表示項目

	ファイル名	配信日付	閲覧期限	サイズ	コメント	配信者
1	banzai_businesswoman1.png	2020/12/04	2020/12/18	190KB		(株)名駅電工

- ファイル名 : 配信されたファイルの名称が表示されます
- 配信日付 : 配信された日付が表示されます
- 閲覧期限 : 配信されたファイルに設定された閲覧期限が表示されます
- サイズ : 配信されたファイルのサイズが表示されます
- コメント : 配信されたファイルに添付されたコメントが表示されます
- 配信者 : 配信されたファイルの配信元が表示されます

● 右クリックメニュー（一覧上で右クリック）

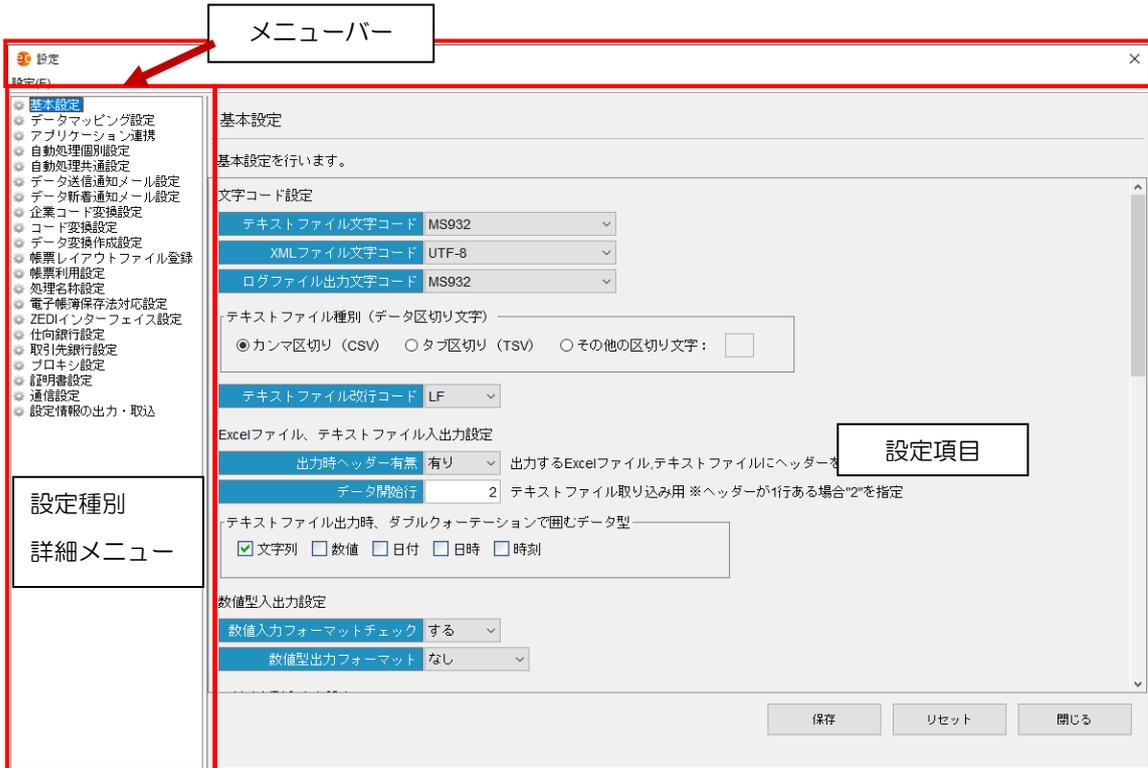
- ファイルを開く : 選択したファイルを表示します
- ダウンロード : 選択したファイルをダウンロードします



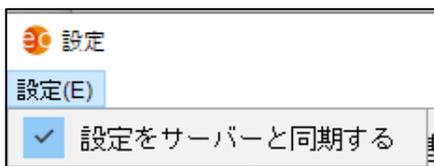
7

設定画面

EcoChange の各種設定を行うための画面です。
EcoChange の各種設定の方法を記述します。



7.1 メニューバー



● 設定

- をすると、設定をサーバーへ保存します。
※ EcoChange のログイン ID が同一の場合、異なる PC 間でも設定を共有します。
- を外すと、設定をローカル PC のみに保存します。

7.2 基本設定

EcoChange のシステム設定を行います。



● 文字コード

- ファイルの読込や出力を行う際の文字コードを指定します。
 - テキストファイル文字コード
 - テキストファイルの文字コードを設定します
 - ※ デフォルトは OS の文字コードが設定されています
 - XML 文字コード
 - XML ファイルの文字コードを設定します
 - ※ デフォルトは UTF-8 が指定されています
 - ※ XML 形式ファイル読み込みは UTF-8 のみ対応しています
 - ログファイル出力文字コード
 - ログファイルの文字コードを設定します
 - ※ デフォルトは OS の文字コードが設定されています

● テキストファイル改行コード

- テキストファイルの改行コードを設定します
 - ※ デフォルトは LF の改行コードが設定されています

● テキストファイル種別

- テキストファイルの入出力する際の種別を設定します
 - ※ デフォルトはカンマ区切り（CSV）が設定されています

● Excel、テキストファイル入出力設定

- Excel、CSV ファイルの入出力に関する設定をします
 - 出力時ヘッダー有無
 - ヘッダー出力の有無を指定します
 - ※ デフォルトは[はい]（出力有り）です
 - データ開始行
 - 読込ファイルのデータ開始行を指定します
 - ※ デフォルトは 2 です
 - ※ CSV 形式ファイルにヘッダーが含まれない場合は 1 と指定します
 - テキストファイル出力時、ダブルクォーテーションで囲むデータ型
 - したデータ型を出力する時、ダブルクォーテーション “” で囲みます
 - ※ デフォルトは文字型に が入っています
 - 出力例) 2014/01/01, “データ”,123

● 数値型入出力設定

- 数値入力フォーマットチェック
 - 数値型のフォーマットをチェックするかどうかを指定します
 - ※ デフォルトは[する]（チェックする）が設定されています
- 数値型出力フォーマット
 - 数値型の出力フォーマットを設定します
 - ※ デフォルトは[なし]が設定されています
 - ※ 下記のように設定できます
 - 例) ###0.00 を設定した場合
 - 「1,234.5」を入力→「1,234.50」と表示
 - 「0」を入力→「0.00」と表示

● 日付時刻入出力設定

- ファイルの読み込みや出力を行う際の日時フォーマットを指定します。
 - 日時入力フォーマットリスト
 - 年 4 桁・月 2 桁・日 2 桁・時 2 桁・分 2 桁・秒 2 桁で指定します
 - カンマ区切りで複数指定できます
 - ※ 下記のように設定できます
 - 例) yyyy/MM/dd HH:mm:ss,yyyy 年 MM 月 dd 日 HH 時 mm 分 ss 秒
 - 日付入力フォーマットリスト
 - 年 4 桁・月 2 桁・日 2 桁で指定します
 - カンマ区切りで複数指定できます
 - ※ 下記のように設定できます
 - 例) yyyy/MM/dd,yyyy 年 MM 月 dd 日
 - 時刻入力フォーマットリスト
 - 時 2 桁・分 2 桁・秒 2 桁で指定します
 - カンマ区切りで複数指定できます
 - ※ 下記のように設定できます
 - 例) HH:mm:ss,HH 時 mm 分 ss 秒
 - 日時出力フォーマット
 - 年 4 桁・月 2 桁・日 2 桁・時 2 桁・分 2 桁・秒 2 桁で指定します
 - ※ 下記のように設定できます
 - 例 1) yyyy/MM/dd HH:mm:ss
 - 例 2) MM/dd/yyyy HH:mm:ss
 - 例 3) yyyy 年 MM 月 dd 日 HH 時 mm 分 ss 秒
 - 日付出力フォーマット
 - 年 4 桁・月 2 桁・日 2 桁で指定します
 - ※ 下記のように設定できます
 - 例 1) yyyy/MM/dd
 - 例 2) MM/dd/yyyy
 - 例 3) yyyy 年 MM 月 dd 日
 - 時刻出力フォーマット
 - 時 2 桁・分 2 桁・秒 2 桁で指定します
 - ※ 下記のように設定できます
 - 例 1) HH:mm:ss
 - 例 2) HH 時 mm 分 ss 秒

● 帳票設定

- 帳票に関する設定をします。
 - データ送信前の帳票発行
帳票発行対象データに送信前データが含まれている場合のチェック有無を設定します。
※ EcoChange は送信完了によりデータが確定するため、送信前のデータから帳票を発行すると、データと帳票の内容不一致が起きる可能性があります。

[許可する]：チェックしない
[確認する]：帳票発行前に確認を行う
[禁止する]：帳票発行エラーとする
 - 帳票発行アプリケーション
帳票 PDF の表示アプリケーションを指定します
※ デフォルトは AdobeReader です
 - 帳票 PDF 保持件数
帳票を PDF で出力するための XSLT 登録件数を設定します
※ 最大件数は 99 件です

● データ編集プラグイン

- プラグインに関する設定をします。
 - プラグイン名称
EcoChange サポートデスクから指定されたプラグイン名称を入力ください
※ 指定されていない場合は、空白のままにしてください

● メール送信設定

- EcoChange から通知されるメールの設定をします。
 - 送信元名
「差出人名」として使われる名前を設定します
 - 送信元 Email アドレス
メール送信元のアドレスを設定します

● EcoChange 通知メール設定

- EcoChange から通知されるメールの設定をします。
 - メールタイトル
EcoChange から通知されるメールのタイトルを設定します
 - 送信先 Email アドレス
メール送信先のアドレスを設定します

● SMTP サーバー設定

- EcoChange から通知されるメールの設定をします。
 - ※ EcoChange 標準メールサーバーを使用する場合は設定不要となります。
 - SMTP サーバー
 - SMTP サーバー名を設定します
 - SMTP ポート
 - SMTP ポート番号を設定します
 - ユーザーID
 - SMTP サーバーのユーザーID を設定します
 - パスワード
 - SMTP サーバーのパスワードを設定します
 - Mail テスト送信ボタン
 - 設定に従ってメールのテスト送信を行います

● 保存ボタン

- 現在編集中的の設定内容を保存します。

● リセットボタン

- 最後に保存した設定内容に戻します。

● 閉じるボタン

- 画面を閉じて設定を終了します。
- 保存していない場合、編集した内容は破棄されます。

7.3 データマッピング設定

EcoChange の項目（要素）を、入出力ファイルの項目（要素）と紐付ける設定を行います。データマッピング設定を行うことで、自社独自のフォーマットで情報の授受が可能となります。本設定から、画面に表示する項目の指定も行えます。取り込むデータマッピングファイルのインデックスシートは「INDEX」と記入してください。

必	メッセージ辞書項目名	アップロード列No	列ヘッダー名	型	説明
1	見積依頼履歴番号			文字列	見積依頼書の変更履歴を管理する番号
2	見積依頼番号	1		文字列	発注者が見積依頼を特定するために付
3	見積依頼目的コード	3	区分	文字列	発注者が見積依頼の目的（新規依頼、変
4	見積依頼書タイプコード			文字列	この文書が見積依頼書であることを識別
5	見積依頼書発行日	2		日時	発注者が見積依頼を行った日付。または
6	見積依頼書改定日	4		日時	見積依頼書を改訂した日付
7	見積依頼書名			文字列	発注者が見積依頼書に付与した文書名称
8	見積返信期限	5		日時	見積回答返信の要求期限

● 対象企業選択

- 特別に企業別の設定が必要な場合、設定を行う対象企業を選択します。
※ 通常は選択を行わず、共通マッピングを使用します

● 企業個別設定を削除

- 企業毎に設定した内容を初期化します。
- 複数の設定が存在する場合、全ての設定が初期化されます。

● アップロード用

- アップロード設定対象とする情報種別を選択します。（注文情報など）

● ダウンロード用

- ダウンロード設定対象とする情報種別を選択します。（注文情報など）

● 一覧表示用

- 送受信画面へ表示設定対象とする情報種別を選択します。（注文情報など）

● ○○に同じ値をセットする

- した後に保存をすると、編集中のデータマッピングと同じ値が選択したデータマッピ

ングの列設定（例 NO、ヘッダー名等）に適用されます。

また、画面上で同じ設定が適用される対象同士がライン()で結ばれます。

※設定が適用されると は外されます。

- 編集中のデータマッピングに応じて、表示内容が異なります。
 - ① 一覧表示用を設定している場合
アップロード用とダウンロード用がチェック対象として表示されます
 - ② アップロード用を設定している場合
ダウンロード用と一覧表示用がチェック対象として表示されます
 - ③ ダウンロード用を設定している場合
アップロード用と一覧表示用がチェック対象として表示されます

①

②

③

● 階層表示する

- 業界横断 EDI メッセージ辞書項目名を、関連の項目をグループ化して表示します。
※ 階層表示中は、並び替えが行えません。

必	メッセージ辞書 項目名	アップロード 列No
	注文書番号	1
	注文書名	2
	注文書タイプコード	
	注文書発効日	3
	注文目的コード	4
	注文書改定日	5
	注文履歴番号	6
	注文状態コード	
	注文注釈表題1	

⇒

必	メッセージ辞書 項目名	アップロード 列No
	注文書番号	1
	注文書名	2
	注文書タイプコード	
	注文書発効日	3
	注文目的コード	4
	注文書改定日	5
	注文履歴番号	6
	注文状態コード	
	注文注釈表題1	
	注文注釈表題2	
	注文注釈内容1	7
	注文注釈内容2	8
	注文注釈識別子1	
	注文注釈識別子2	
	注文注釈アソシエーション	

● 項目名・列ヘッダー名でマッピングする

- 入出力ファイルとのマッピングを列番号ではなく列名とします。

● 明細番号を自動附番する

- すると、データファイルを出力する際に明細番号が自動的に付与されます。
※ 明細番号を再度ふり直したい時や、取り込むデータファイルに明細番号が記述されていない時に使用してください。

● 検索する項目名

- 目的の業界横断 EDI メッセージ辞書項目名を検索します。
- 項目名を入力し Enter キーまたは[検索ボタン]クリックで検索を行います。

● 一覧) ポップアップメニュー

- 一覧上で右クリックするとポップアップメニューを表示します。
- [アップロード用]・[ダウンロード用]・[一覧表示用]で選択する情報種によってポップアップメニューの表示項目は異なります。下記は[注文請け情報ダウンロード]にて説明しております。情報種全てにおいて、項目の意味は共通しております。

階層表示しない場合

階層表示している場合

- 列 No 順で並べ替える

[列 No]に設定されている値を元に一覧を並べ替えます

- 必須項目を先頭に移動する

[必]を設定した項目を先頭から並べ替えます

- 並び順をもとに戻す

一覧の並び順をデフォルトの状態に戻します

- 注釈

[注釈]項目の追加、または削除を行います

- 関連企業

[関連企業]項目の追加、または削除を行います

- 明細注釈

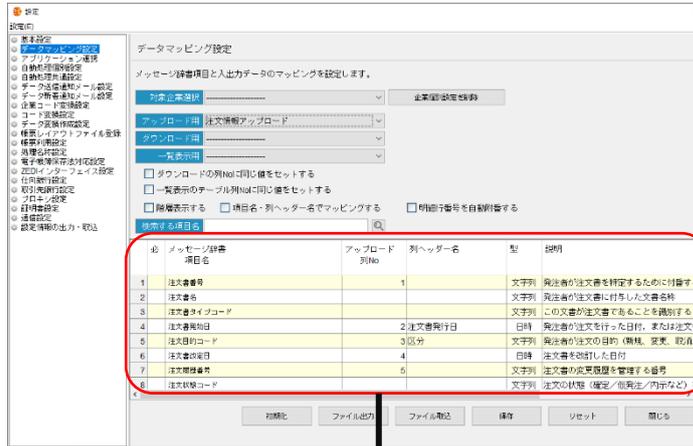
- [明細注釈]項目の追加、または削除を行います
- 製品特性
 - [製品特性]項目の追加、または削除を行います
- 分納明細
 - [分納明細]項目の追加、または削除を行います
- 合計金額・税区分
 - [合計金額・税区分]項目の追加、または削除を行います

● 一覧) 設定方法

- 注文情報のアップロードから一覧表示までの方法を設定します。

【データマッピング設定-アップロード用】

上記の例では、注文情報アップロード用の CSV 形式ファイルレイアウトを定義しています。



1	注文書番号	1
2	注文書名	
3	注文書タイプコード	
4	注文書発効日	2
5	注文目的コード	3
6	注文書改定日	4
7	注文履歴番号	5
8	注文状態コード	

[注文書番号]・[注文書名]・[注文書発効日]・[注文目的コード]・[注文書改定日]・[注文履歴番号]・[注文注釈内容 1]の順番に記述されている CSV 形式ファイルを読み込む設定になります。

アップロード設定では CSV 列 No は順番どおりである必要はありません。

読み込まない列の設定も可能です。

アップロード CSV データの順番が[15-ABC, , 2021/11/19]であった場合、アップロード列 No.は、注文書番号に2を、注文数量に4と指定します。

注文情報アップロードレイアウト

利用しない	注文書番号	利用しない	注文書発効日
	15-ABC		2021/11/19

アップロード CSV データ

” ”, ” 15-ABC ”, ” ”, ” 2021/11/19”



必	メッセージ辞書 項目名	アップロード 列No
1	注文書番号	2
2	注文書名	
3	注文書タイプコード	
4	注文書発効日	4
5	注文目的コード	
6	注文書改定日	

【データマッピング設定-ダウンロード用】

上記の例では、注文情報ダウンロード用の CSV 形式ファイルレイアウトを定義しています。

メッセージ辞書 項目名	ダウンロード 列No	列ヘッダー名	型	ダウンロード フォーマット	説明
1 注文書番号	1		文字列		発注者が注文書特定するための...
2 注文書名			文字列		発注者が注文書に付与した文...
3 注文書タイプコード			文字列		この文書が注文書であること...
4 注文書発効日	2	注文書発行日	日時		発注者が注文を行った日付...
5 注文目的コード	3	区分	文字列		発注者が注文の目的 (新規、...
6 注文書改定日	4		日時		注文書を改訂した日付...
7 注文履歴番号	5		文字列		注文書の履歴履歴を管理する...
8 注文状態コード			文字列		注文の状況 (確定 / 取消注...

1	注文書番号	1
2	注文書名	
3	注文書タイプコード	
4	注文書発効日	2
5	注文目的コード	3
6	注文書改定日	4
7	注文履歴番号	5
8	注文状態コード	

CSV 形式ファイルには、[注文書番号]・[注文書名]・[注文書発効日]・[注文目的コード]・

[注文書改定日]・[注文履歴番号]・[注文注釈内容 1]の順番に出力される設定になります。

ダウンロード設定では CSV 列 No は順番どおりである必要はありません。

書き込まない列の設定も可能です。
ダウンロード列 No に注文書番号に 2、注文書発効日に 4 を指定してあった場合、[注文書番号]・[注文書発効日]は[,15-ABC, , 2021/11/19]と出力されます。

注文情報ダウンロードレイアウト

利用しない	注文書番号	利用しない	注文書発効日
	15-ABC		2021/11/19

ダウンロード CSV データ

” ” , ” 15-ABC” , ” ” , ” 2021/11/19”

メッセージ辞書 項目名	ダウンロード 列No
1 注文書番号	2
2 注文書名	
3 注文書タイプコード	
4 注文書発効日	4
5 注文目的コード	
6 注文書改定日	

【データマッピング設定一覧表示用】

上記の例では、注文情報一覧表示用の一覧表示レイアウトを定義しています。



1	注文書番号	1
2	注文書名	
3	注文書タイプコード	
4	注文書発効日	2
5	注文目的コード	3
6	注文書改定日	4
7	注文履歴番号	5
8	注文状態コード	

一覧表示には、[注文書番号]・[注文書発効日]・[受注者名称]・[注文明細行番号]・[品名]・[注文数量]・[注文数量_単位コード]の順番に表示される設定になります。
 テーブル列 No は表示の関係上間隔をあけて設定することができません。
 [1, 3, 5, 7]などと設定した場合、保存時に[1, 2, 3, 4]と置きかえられます。

● 一覧) その他・システム値

- ユーザーは値を設定することはできませんが、EcoChange システムで使用している値を確認できます。

288	送信者コード
289	受信者コード
290	ローカル発注者コード
291	ローカル受注者コード
292	リビジョン
293	分割検索
294	ステータスコード
295	EDIステータス
296	原因
297	診断
298	送信日時
299	処理ユーザーID
300	送信コメント
301	添付ファイル1
302	添付ファイル2
303	添付ファイル3

ステータスコード詳細

コード値	100	200	300
処理ステータス	送信	照会	回答

▶TIPS. システム値の意味

システム値について説明します。

システム値	意味
送信者コード	送信側企業の企業コード（EcoChange アカウント ID）が入ります。
受信者コード	受信側企業の企業コード（EcoChange アカウント ID）が入ります。
ローカル発注者コード※1	企業コード変換設定によって企業アカウントコードに対して設定したローカルコードを表示します。受注側企業がファイルからデータを読み込んだ際、もしくはサーバーからデータを取得した際にセットされます。発注側では、受注側企業でローカル発注者コードをセットした状態でデータを送信した場合のみ表示されます。
ローカル受注者コード※1	企業コード変換設定によって企業アカウントコードに対して設定したローカルコードを表示します。発注企業がファイルからデータを読み込んだ際、もしくはサーバーからデータを取得した際にセットされます。受注側では、発注側企業でローカル受注者コードをセットした状態でデータを送信した場合のみ表示されます。
リビジョン	初期値は1、同一キー情報のデータを再送信した場合等にカウントアップされます。
分割枝番	初期値は0、データ分割等を行った際にカウントアップされます。
ステータスコード	00 未送信 01：送信済み 90：受信済み EcoChange のステータスです。
EDI ステータス	00：未送信 01：送信済み 90：受信済み EcoChange のステータスと役割はほぼ同じです。他システムで標準としているコードを持ちます。
送信日時	データを送信した日時を yyyy/MM/dd HH:mm:ss 形式で表示、ダウンロードします。
処理ユーザー	データ送信時にログインしていたユーザーID を表示します。
送信コメント	詳細画面でセットした「送信コメント」を表示します。
添付ファイル1～3※1	自動処理にてデータを取り込む際にセットされた、添付するファイルの絶対パスを表示します。

※1 取り込みデータからセット可能です。

● 初期化ボタン

- マッピング情報を初期化します。

● ファイル出力ボタン

- マッピング情報を Excel ブック形式でファイル出力します。

● ファイル取込ボタン

- Excel ブック形式のマッピング情報を取込ます。(取込後、要保存)

● 保存ボタン

- 現在編集中的の設定内容を保存します。

● リセットボタン

- 最後に保存した設定内容に戻します。

● 閉じるボタン

- 画面を閉じて設定を終了します。
- 保存していない場合、編集した内容は破棄されます。

7.4 アプリケーション連携 オプション機能

EcoChange の項目（要素）を、他のアプリケーションの項目（要素）と紐付ける設定を行います。アプリケーション連携を行うことで、EcoChange と他のアプリケーションを連携することができます※。これにより、EcoChange を意識することなく、自社基幹システムのみでの相手企業とのやり取りを実現するなどの使い方が可能になります。取り込むデータマッピングファイルのインデックスシートは「APP_COOP_INDEX」と記入してください。

※ アプリケーション連携のご利用はオプション対応です。別途、契約が必要になります。



● アプリケーション連携を利用する

- ファイル取込した後に すると、他のアプリケーションとのマッピングが表示されます。

● 情報種選択

- 設定対象とする情報種別を選択します。（注文情報など）

● 項目名・ヘッダー名でマッピングする

- 入出力ファイルとのマッピングを列番号ではなく列名とします。

● 明細行番号を自動付番する

- すると、データファイルを出力する際に明細番号が自動的に付与されます。
※ 明細番号を再度ふり直したい時や、取り込むデータファイルに明細番号が記述されていない時に使用してください。

● ファイル取込ボタン

- Excel ブック形式のマッピング情報を取り込みます。（取込後、要保存）

● 保存ボタン

- 現在編集内容の設定内容を保存します。

● リセットボタン

- 最後に保存した設定内容に戻します。

● 閉じるボタン

- 画面を閉じて設定を終了します。
- 保存していない場合、編集した内容は破棄されます。

7.5 自動処理個別設定

自動処理設定を行うことで、相手企業との送受信を自動化することができます。

この設定画面では、自動処理の基本設定と処理ごとの個別設定を行います。

処理ごとの個別設定は詳細設定画面を開いて行います。

詳細設定画面は一覧から対象処理を選択して[編集]もしくはダブルクリックすることで表示できます。

● 一時停止を行う曜日

- 自動処理を停止する曜日を で指定します。
- 曜日を指定していない場合は毎日停止します。

● 一時停止開始時刻

- 一時停止の開始時刻を指定します。
- 開始時刻を指定していない場合は一日中停止します。

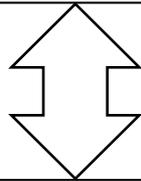
● 一時停止時間

- 一時停止を行う時間の長さを指定します。
- 時間を指定していない場合は一日中停止します。

● 自動処理一括起動チェックをすべてチェック

- 一覧のチェックボックスを全て選択します。

<input type="checkbox"/> 自動処理一括起動チェックをすべてチェック		
	処理名	処理間隔(分)
1	<input type="checkbox"/> 注文情報自動アップロード	
2	<input type="checkbox"/> 注文情報自動EDIステータスチ...	10
3	<input type="checkbox"/> 出荷情報自動ダウンロード	60
4	<input type="checkbox"/> 検収情報自動アップロード	
5	<input type="checkbox"/> 検収情報自動EDIステータスチ...	10



<input checked="" type="checkbox"/> 自動処理一括起動チェックをすべてチェック		
	処理名	処理間隔(分)
1	<input checked="" type="checkbox"/> 注文情報自動アップロード	
2	<input checked="" type="checkbox"/> 注文情報自動EDIステータスチ...	10
3	<input checked="" type="checkbox"/> 出荷情報自動ダウンロード	60
4	<input checked="" type="checkbox"/> 検収情報自動アップロード	
5	<input checked="" type="checkbox"/> 検収情報自動EDIステータスチ...	10

● 編集ボタン

- 一覧で選択した文書の自動処理個別設定詳細画面が表示されます。

- 一括起動を行う

- ☑するとメインメニューの[自動処理]で一括起動する対象となります

- 処理間隔 (分)

サーバー上の未ダウンロード情報を照会する間隔を分単位で設定します
 ※ アップロード処理はファイルを配置後、即時実行されます

- 処理フォルダ

処理の対象ファイルを格納するフォルダを指定します
 ※ 書き込み可能なフォルダを指定してください

- 成功フォルダ (アップロード処理のみ設定可能)

アップロード済みファイルの退避先フォルダを設定します

- エラーフォルダ (アップロード処理のみ設定可能)

アップロードに失敗したファイルの退避先フォルダを設定します

- ファイル名

ファイル名の書式 (正規表現) を設定します
 ※ ダウンロード時は{DATE_TIME}を yyyyMMddHHmmss、
 {DATE}を yyyyMMdd、
 {SEQ}を前0埋め最大5桁の連番をセットします
 例) DOWNLOAD{DATE}{SEQ}.csv

→ DOWNLOAD2017051600001.csv

- ファイル種類

処理を行うファイルの種類を設定します

- 排他制御
 - 排他制御の有無を設定します
 - ※ 自動処理共通設定の[自動処理送信ロックファイル]および[自動処理受信ロックファイル]に設定したファイルを監視する
- 企業毎データ分割
 - ファイルを企業ごとに分割するか 1 ファイルにまとめるか設定します
- 成功時メール送信先リスト
 - 処理成功時にメール通知するメールアドレスを設定します
 - 複数の宛先を指定するにはカンマ区切りで設定します
- 失敗時メール送信先リスト
 - 処理失敗時にメール通知するメールアドレスを設定します
 - 複数の宛先を指定するにはカンマ区切りで設定します
- 帳票レイアウト 1～5
 - 自動処理が完了時に出力される帳票のレイアウトファイルを設定します
- 実行後処理
 - 実行後に外部プログラム処理を行いたい場合に設定します
- テストボタン
 - 実行後処理に設定した外部プログラムを実行します
- 一時停止を行う曜日
 - 自動処理を停止する曜日を で指定します。
 - 曜日を指定していない場合は毎日停止します。
- 一時停止開始時刻
 - 一時停止の開始時刻を指定します。
 - 開始時刻を指定していない場合は一日中停止します。
- 一時停止時間
 - 一時停止を行う時間の長さを指定します。
 - 時間を指定していない場合は一日中停止します。
- 更新ボタン
 - 現在編集中的の設定内容を更新します。
 - 設定内容を保存するために、「保存」ボタンをクリックします。
- リセットボタン
 - 最後に保存した設定内容に戻します。
- キャンセルボタン
 - 画面を閉じて編集を終了します。

● **初期化ボタン**

- 設定内容を初期化します。

● **保存ボタン**

- 現在編集集中の設定内容を保存します。

● **リセットボタン**

- 最後に保存した設定内容に戻します。

● **閉じるボタン**

- 画面を閉じて設定を終了します。
- 保存していない場合、編集した内容は破棄されます。

7.6 自動処理共通設定

自動処理設定を行うことで、相手企業との送受信を自動化することができます。

この設定画面では、自動処理の共通設定を行います。

[企業コード]・[ユーザーID]・[パスワード]を設定することで起動時に自動ログインできます。

Windows の[タスク]から EcoChange を定刻に起動し、自動処理を行うことができます。

● 企業コード

- EcoChange へ自動ログインする企業コードを設定します。

● ユーザーID

- EcoChange へ自動ログインするユーザーID を設定します。

● パスワード

- EcoChange へ自動ログインするパスワードを設定します。

● 自動処理を起動する

- 自動ログイン時、自動処理を起動するか設定します。

● 1 度だけ処理する

- 自動処理を 1 度だけ処理して終了するか設定します。
 - ※ [はい]に設定した場合、1 度だけ処理を実行します
この際、対象ファイルが存在しなくても、自動処理は終了します
すべての自動処理が[停止]状態になったら、EcoChange は自動終了します

● ウィンドウを表示する

- 自動ログイン時のウィンドウ表示について設定します。

● 自動処理ログ保護件数

- 自動処理のログを残す件数を設定します。

● 動作ログ保護日数

- 自動処理の動作ログを残す日数を設定します。

● 送信ファイル読込遅延

- 送信ファイルを検知してから読み込み処理を開始するまでの時間を設定します。
- 例えば 2 秒を設定した場合は、送信ファイルを検知してから 2 秒が経つとファイル読み込みを開始します。

● プロセスロック期限

- 自動処理でロックが開始されてから強制的にロック解除するまでの時間を設定します。

● 自動処理送信ロックファイル

- アップロード用排他制御ファイル名を設定します。
 - ※ デフォルト値は、[SENDOK.TXT]

● 自動処理受信ロックファイル

- ダウンロード用排他制御ファイル名を設定します。
 - ※ デフォルト値は、[RECYOK.TXT]

● 起動ロックファイル

- EcoChange の二重起動を防止※するためのロックファイルです。
- 起動ロックファイルのファイル名を設定します。

※自動処理の起動について（非推奨パターン）

- 1 端末で、複数の自動処理起動
- 複数端末で、同一 USER を使用し同時に自動処理起動
- 起動ロックファイル名を空欄にすることで二重起動防止機能を無効化できます

● 起動確認ファイル

- 起動確認のためのファイル名を設定します。
 - ※ このファイルがある場合、前回の EcoChange の起動が失敗しています。

● EcoChange 終了要求ファイル

- EcoChange に終了要求を行うファイル名を設定します。
- 設定値と同名のファイルを EcoChange¥system に格納することで EcoChange を安全に終了できます。

● 通信リトライ回数

- EcoChange サーバーとの接続に失敗した際の再接続リトライ回数を設定します。
 - ※ デフォルト値は、20

● 通信リトライウェイト

- EcoChange サーバーとの接続に失敗した際の再接続リトライ間隔を設定します。
 - ※ デフォルト値は、60 秒 **余裕を持った間隔を指定ください**

● 動作監視ログ出力

- 自動処理の監視ログ出力有無を設定します。

● メモリログ出力

- 自動処理のメモリログ出力有無を設定します。

● メモリログファイルサイズ

- メモリログファイルのサイズを設定します。
- 設定したサイズを超えた場合、新しいファイルに切替わります。

● メモリログファイル保持数

- メモリログファイルの保持数を設定します。

● 保存ボタン

- 現在編集中的の設定内容を保存します。

● リセットボタン

- 最後に保存した設定内容に戻します。

● 閉じるボタン

- 画面を閉じて設定を終了します。
- 保存していない場合、編集した内容は破棄されます。

7.7 データ送信通知メール設定

データ送信を行った際の通知メール送信設定を行います。データ送信通知メール設定を行うことで、データ送信時に、システムから指定したアドレスへ通知メールが送信されます。

送信対象は[対象情報種]と[対象受信企業]ごとに設定が行えます。

[対象受信企業]の指定が無い場合は[対象情報種]を送信する度にメールが送信されます。

- ※ 本機能は[送信元]へメール送信をおこなう機能ではありません。
- ※ [送信先]に指定したメールアドレスのみにメールを送信します。
- ※ 自動処理、手動処理どちらでも対応します。
- ※ 対象情報種 = ビジネス文書（注文、出荷、検収 など）



● 新規追加ボタン

- 新しいデータ送信通知メールを作成します。
 - ※ データ送信通知メール設定画面を表示します

● コピー追加ボタン

- 一覧で選択しているデータ送信通知メールと同じ内容のメールを追加します。
- 同じ内容のメールを他の宛先に送りたい時などに本機能を利用します。
 - ※ データ送信通知メール設定画面を表示します

● 編集ボタン

- 一覧で選択しているデータ送信通知メールを編集します。
※ データ送信通知メール設定画面を表示します

● 削除ボタン

- 一覧で選択しているデータ送信通知メールを削除します。

● データ送信通知メール設定画面

- 一覧にデータ追加および既存データの編集を行う画面です。
 - 送信元名 (オプション)
設定された名前がメールの From に設定されます
 - 送信元 Email アドレス (オプション)
エラーメールを受け取りたい場合に設定します
宛先エラーなどのエラーメールが設定されたメールアドレスに送られます
 - 情報種別
注文情報など対象ドキュメントをリストから選択します
 - 受信企業
送信先の企業をリストから選択します
 - 送信先 Email アドレス
送信する相手のメールアドレスを設定します
複数設定する場合はカンマで区切って記入してください
 - Cc (オプション)
メールの Cc と同一となります
 - Bcc (オプション)
メールの Bcc と同一となります

- メールタイトル
メールの題名を設定してください
- 本文エリア
メールの本文を設定してください
- テストメール送信ボタン
設定した内容でテストメールを送信します
- 新規追加（コピー追加、更新）ボタン
設定した内容でデータ送信通知メールを追加・更新し、画面を閉じます
- リセットボタン
設定した内容を破棄し、設定画面を開いた状態に戻します
- キャンセルボタン
設定した内容を破棄し、設定画面を閉じます

● 保存ボタン

- 現在編集中的の設定内容を保存します。

● リセットボタン

- 最後に保存した設定内容に戻します。

● 閉じるボタン

- 画面を閉じて設定を終了します。
- 保存していない場合、編集した内容は破棄されます。

7.8 データ新着通知メール設定

データ受信を行った際の通知メール送信設定を行います。データ新着通知メール設定を行うことで、データ受信時に、システムから指定したアドレスへ通知メールが送信されます。

送信対象は[対象情報種]と[対象送信企業]ごとに設定が行えます。

[対象送信企業]の指定が無い場合は[対象情報種]を受信する度にメールが送信されます。

- ※ 本機能は[送信元]へメール送信をおこなう機能ではありません。
- ※ [送信先]に指定したメールアドレスのみにメールを送信します。
- ※ 自動処理、手動処理どちらでも対応します。
- ※ 対象情報種 = ビジネス文書（注文、出荷、検収 など）

設定 (E)

データ新着通知メール設定

各種データを新着した際の、通知メール設定を行います。

新規追加 コピー追加 編集 削除

情報種別	送信企業	送信元Emailアドレス (オプション)	送信先Emailアドレス	Cc (オプション)

保存 リセット 閉じる

● 新規追加ボタン

- 新しいデータ送信通知メールを作成します。
- ※ データ送信通知メール設定画面を表示します

● コピー追加ボタン

- 一覧で選択しているデータ送信通知メールと同じ内容のメールを追加します。
- 同じ内容のメールを他の宛先に送りたい時などに本機能を利用します。
- ※ データ送信通知メール設定画面を表示します

● 編集ボタン

- 一覧で選択しているデータ送信通知メールを編集します。
※ データ送信通知メール設定画面を表示します

● 削除ボタン

- 一覧で選択しているデータ送信通知メールを削除します。

● データ新着通知メール設定画面

- 一覧に追加、もしくは既存データの編集を行う画面です。

- 送信元名 (オプション)
設定された名前がメールの From に設定されます
- 送信元 Email アドレス (オプション)
エラーメールを受け取りたい場合に設定します
宛先エラーなどのエラーメールが設定されたメールアドレスに送られます
- 情報種別
注文情報など対象ドキュメントをリストから選択します
- 送信企業
送信先の企業をリストから選択します
- 送信先 Email アドレス
送信する相手のメールアドレスを設定します
複数設定する場合はカンマで区切って記入してください
- Cc (オプション)
メールの Cc と同一となります
- Bcc (オプション)
メールの Bcc と同一となります

- メールタイトル
メールの題名を設定してください
- 本文エリア
メールの本文を設定してください
- テストメール送信ボタン
設定した内容でテストメールを送信します
- 新規追加（コピー追加、更新）ボタン
設定した内容でデータ送信通知メールを追加・更新し、画面を閉じます
- リセットボタン
設定した内容を破棄し、設定画面を開いた状態に戻します
- キャンセルボタン
設定した内容を破棄し、設定画面を閉じます

● 保存ボタン

- 現在編集中的の設定内容を保存します。

● リセットボタン

- 最後に保存した設定内容に戻します。

● 閉じるボタン

- 画面を閉じて設定を終了します。
- 保存していない場合、編集した内容は破棄されます。

7.9 企業コード変換設定

企業コード¹とローカル企業コード²の紐づけ設定を行います。システムに取り込む送信情報に EcoChange が相手企業を特定するコードを含むことができない場合などに、現在自社基幹システムで使用している相手企業を特定するコードをそのまま使用できます。

一覧に関連企業のリストが表示されるので、各企業のローカル企業コードを設定します。

※ EDI データの送信先となる発注者企業コード（または受注者企業コード）にローカル企業コードを設定する場合、当設定により送信先の変換を行うことができます。

なお、EDI データ内の発注者企業コード（または受注者企業コード）の値は変更されません。

以下に変換例を記述します。

① 事前準備

【企業コード変換設定】

企業コード	企業名	ローカル企業コード
DEMO20002	(株)七宝テクノ	0909

② データ送信時（企業コード変換）

【注文情報 CSV（送信ファイル）】

受信企業コード	企業名	受注企業コード
	(株)七宝テクノ	0909

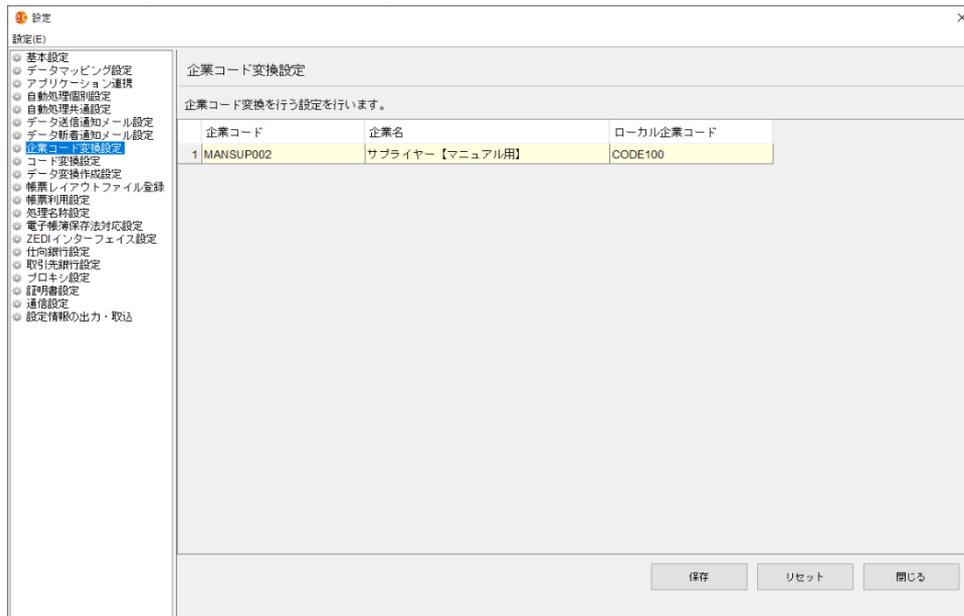
変換

【注文情報（EDI 送信データ）】

受信企業コード	企業名	ローカル受注者コード
DEMO20002	(株)七宝テクノ	0909

¹ EcoChange の EDI 企業コード。送信先を識別するコードとなります。

² 自社の基幹システム等で使用している企業コード。



● 保存ボタン

- 現在編集集中の設定内容を保存します。

● リセットボタン

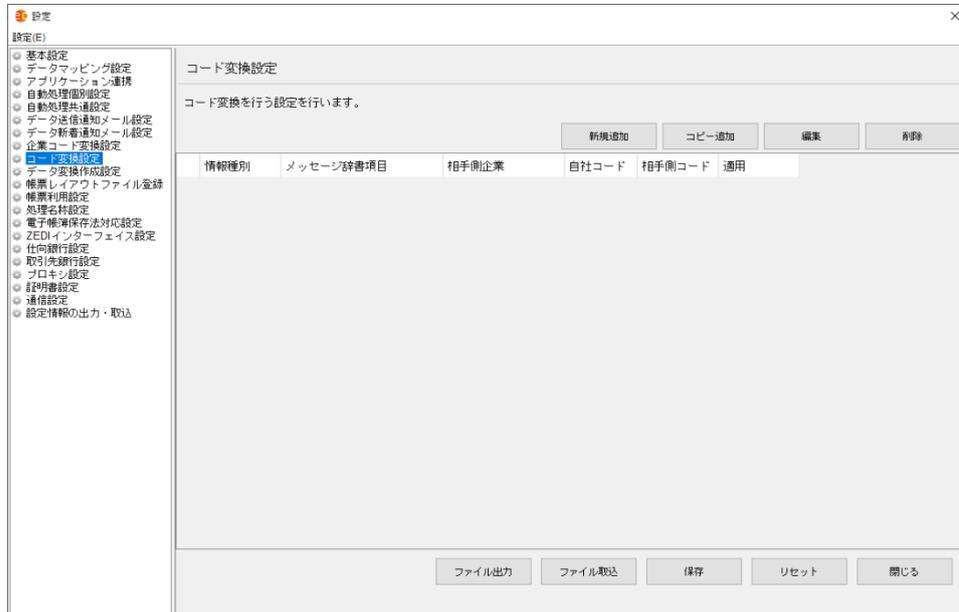
- 最後に保存した設定内容に戻します。

● 閉じるボタン

- 画面を閉じて設定を終了します。
- 保存していない場合、編集した内容は破棄されます。

7.10 コード変換設定

コード変換の設定を行います。コード変換設定を行うことで、対象項目の値を読み替えて送受信することができます。



● 新規追加ボタン

- 新しいコード変換を作成します。
※ コード変換設定画面を表示します

● コピー追加ボタン

- 一覧で選択しているコード変換と同じ内容のコードを追加します。
- 同じ内容のコードの内容を作成したい時などに本機能を利用します。
※ コード変換設定画面を表示します

● 編集ボタン

- 一覧で選択しているコード変換を編集します。
※ コード変換設定画面を表示します

● 削除ボタン

- 一覧で選択しているコード変換を削除します。

● コード変換設定画面

- 一覧にデータ追加および既存データの編集を行う画面です。

- 情報種別
設定対象とする情報種別を選択します。(注文情報など)
- メッセージ辞書項目
変換対象とするメッセージ辞書項目をリストから選択します。
- 相手側企業
コード変換を適用する相手側企業を選択します。
指定しない場合、全ての相手側企業に変換設定が適用されます。
- 自社コード
自社で使用するコードを記入します。
- 相手側コード
相手側企業で使用するコードを記入します。
- 適用
追加する設定が適用されるタイミングをリストから選択します。
- 新規追加 (コピー追加、更新) ボタン
設定した内容でコード変換を追加・更新し、画面を閉じます
- リセットボタン
設定した内容を破棄し、設定画面を開いた状態に戻します
- キャンセルボタン
設定した内容を破棄し、設定画面を閉じます

● **保存ボタン**

- 現在編集集中の設定内容を保存します。

● **リセットボタン**

- 最後に保存した設定内容に戻します。

● **閉じるボタン**

- 画面を閉じて設定を終了します。
- 保存していない場合、編集した内容は破棄されます。

7.11 データ変換作成設定

データ変換を行う際に使用するマッピング設定を行います。データ変換作成設定を行うことで、注文情報から注文請け情報に変換など異なる情報種へ変換する際の、項目移送定義を設定することができます。

変換元フィールド	変換先フィールド
1 見積依頼番号	注文番号
2 ----- 選択してください -----	注文書名
3 (参照) 注文タイプコード	注文タイプコード
4 処理日時(変換時の日時)	注文書発行日 (注文書発効日)
5 (参照) 注文目的コード	区分 (注文目的コード)
6 ----- 選択してください -----	注文書改定日
7 (参照) 注文履歴番号	注文履歴番号
8 ----- 選択してください -----	注文状態コード
9 見積依頼注釈表題1	注文注釈表題1
10 見積依頼注釈内容1	注文注釈内容1
11 見積依頼注釈識別子1	注文注釈識別子1
12 見積依頼注釈表題2	注文注釈表題2
13 見積依頼注釈内容2	注文注釈内容2
14 見積依頼注釈識別子2	注文注釈識別子2
15 見積依頼注釈表題3	注文注釈表題3

● データ変換種類

- 設定を行う変換前後のドキュメント種を指定します。

● この設定を利用する

- 複数のデータ変換種類がある場合、 することで本設定を利用するようになります。
- 複数のデータ変換種類で されている場合、データ変換時に選択画面を表示します。

● 自動引用変換を行う

- している場合、データ変換画面で行う一連の処理を自動で行います。

● 追加ボタン

- フィールドを追加します。

● 削除ボタン

- 一覧から選択したフィールドを削除します。

● 初期化ボタン

- 設定内容を初期化します。

● 保存ボタン

- 現在編集集中の設定内容を保存します。

● リセットボタン

- 最後に保存した設定内容に戻します。

● 閉じるボタン

- 画面を閉じて設定を終了します。
- 保存していない場合、編集した内容は破棄されます。

● 例) 初期値

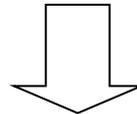
- 変換元と変換先に同一フィールドがある場合は初期値で設定されます。
- 対応するフィールドがない場合は[----- 選択してください -----]と表示されますので、設定をしてください。

		追加	削除
	変換元フィールド		変換先フィールド
1	注文書番号		検収書番号
2	----- 選択してください -----		検収書名
3	----- 選択してください -----		検収書タイプコード
4	----- 選択してください -----		検収書発行日 (検収書発効日)
5	----- 選択してください -----		区分 (検収書目的コード)
6	----- 選択してください -----		検収書類型コード
7	----- 選択してください -----		検収注釈表題1
8	----- 選択してください -----		検収注釈内容1
9	注文注釈識別子1		検収注釈識別子1
10	注文注釈表題2		検収注釈表題2
11	注文注釈内容2		検収注釈内容2
12	注文注釈識別子2		検収注釈識別子2
13	注文注釈表題3		検収注釈表題3
14	注文注釈内容3		検収注釈内容3
15	注文注釈識別子3		検収注釈識別子3

● 例) 設定

- 検収情報の[検収書名]を対応する注文請け情報の[初期値]から[注文回答書名]に変更したものです。最後に「保存」ボタンをクリックして、設定内容を保存してください。

変換元フィールド	変換先フィールド
1 注文回答書番号	検収書番号
2 注文回答書名	検収書名
3 -----	検収書タイプコード
4 注文回答書番号	検収書発行日 (検収書発効日)
5 注文回答書タイプコード	区分 (検収書目的コード)
6 注文回答書発行日	検収書類型コード
7 区分 (注文回答目的コード)	検収注釈表題1
8 注文回答履歴番号	検収注釈内容1
9 注文回答理由コード	検収注釈識別子1
10 注文回答注釈識別子1	検収注釈表題2



変換元フィールド	変換先フィールド
1 注文回答書番号	検収書番号
2 注文回答書名	検収書名
3 ----- 選択してください -----	検収書タイプコード
4 処理日時(変換時の日時)	検収書発行日 (検収書発効日)
5 ----- 選択してください -----	区分 (検収書目的コード)
6 ----- 選択してください -----	検収書類型コード
7 注文回答注釈項目名1	検収注釈表題1

7.12 帳票レイアウトファイル登録

各帳票のレイアウトファイルをサーバーに登録します。帳票レイアウトファイル登録を行うことで、自社独自に用意した帳票レイアウトを利用することができます。

※ 送信側により定義された帳票レイアウトで受信側が帳票を発行する場合も当設定を行います（例えば発注者指定様式の注文書を受注者側で発行する場合など）。

その場合、次項の「帳票利用設定」にて、受信者側が送信者の設定した「情報種別」・「帳票番号」を利用するようにします。ただし、送信者・受信者で同じ「情報種別」・「帳票番号」の帳票レイアウトを登録している場合は、送信者の登録が優先されます。

● 情報種別

- 帳票を発行するドキュメント種を指定します。

● 帳票番号

- システム上の帳票番号を設定します。
- 情報種別ごとに 1～99 まで指定できます。

● レイアウトファイル

- 帳票のレイアウトファイルを設定します。
※ 利用できるファイルの形式は、XSLT（XML スタイルシート）です

● 画像ファイル 1~3

- ログなどの画像を設定します。
※ 利用できる画像形式は、bmp・jpeg・gif です

● アップロードボタン

- 設定した帳票レイアウトをサーバーに登録します。

● 削除ボタン

- 登録済み帳票レイアウトを削除します。

● 登録済み帳票レイアウトファイル

- サーバーに登録されている帳票レイアウトファイルのリストが表示されます。

● 閉じるボタン

- 画面を閉じて設定を終了します。
- 保存していない場合、編集した内容は破棄されます。

7.13 帳票利用設定

送受信画面で[帳票発行ボタン]をクリックした際に発行する帳票の出力設定を行います。帳票利用設定を行うことで、[帳票レイアウトファイル登録]³で登録した帳票レイアウトをどの画面で利用するか設定することができます。



● 新規追加ボタン

- 新しい帳票利用設定を作成します。
※ 帳票利用設定画面を表示します

● コピー追加ボタン

- 一覧で選択している帳票利用設定と同じ内容の設定を追加します。
- 同じ内容の帳票を他の情報種別で流用したい時などに本機能を利用します。
※ 帳票利用設定画面を表示します

● 編集ボタン

- 一覧で選択している帳票利用設定を編集します。
※ 帳票利用設定画面を表示します

● 削除ボタン

- 一覧で選択している帳票利用設定を削除します。

³ データ送信元の取引先企業が「帳票レイアウトファイル登録」を行っている場合も利用可能です。その場合、データ送信元企業が登録した帳票番号を指定します。

● 帳票利用設定画面

- 一覧に追加もしくは既存データの編集を行う画面です。

- 情報種別

帳票を利用する情報種を指定します

※ 情報種 = ビジネス文書（注文、出荷、検収 など）

- 帳票番号

発行する帳票番号を指定します

帳票番号は 1 情報種別につき最大 99 登録する事ができます

- 対象処理

帳票を発行する処理種別を[手動][自動][両方]から選択します

※ 手動は一覧画面から手動で帳票発行、自動は自動処理実行時に帳票発行

- 発行単位

帳票の発行単位を[一覧単位]または[明細単位（単票形式）]で指定します

- 帳票表示名

帳票の表示名を設定します

- 用紙の向き

自動処理時に帳票発行を行う際の用紙の向きを設定します

- Plugin 引数

帳票発行プラグインに渡す引数を設定します。

※ EcoChange サポートデスクから指示がない限り初期設定でご利用ください。

- プリンター名

自動処理個別設定でこの帳票を出力対象に選択した場合に、どのプリンターから出力するか設定します

プリンターの指定無し

帳票は PDF で出力されます

〈通常使うプリンター〉

帳票は PDF とデフォルトプリンターから出力されます

プリンター名指定

帳票は指定したプリンターから出力されます

- トレイ

自動処理時に帳票発行を行う用紙トレイ指定します

● 初期化ボタン

- 設定内容を初期化します。

● 保存ボタン

- 現在編集集中の設定内容を保存します。

● リセットボタン

- 最後に保存した設定内容に戻します。

● 閉るボタン

- 画面を閉じて設定を終了します。
- 保存していない場合、編集した内容は破棄されます。

7.14 処理名称設定

メニューボタン表示名称の設定を行います。処理名称設定では、各メニューボタンの名称の変更ができます。

設定 (E)

設定 (E)

- 基本設定
- データマッピング設定
- アプリケーション連携
- 自動処理個別設定
- 自動処理共通設定
- データ送信通知メール設定
- データ斬着通知メール設定
- 企業コード変換設定
- コード変換設定
- データ変換作成設定
- 帳票レイアウトファイル登録
- 帳票利用設定
- 電子帳簿保存法対応設定
- 2EDIインターフェイス設定
- 仕向銀行設定
- 取引先銀行設定
- プロキシ設定
- 証明書設定
- 通信設定
- 設定情報の出力・取込

処理名称設定

処理の名称を変更します。

バイヤー側設定

利用	処理名称	メニューボタン表示名称
<input checked="" type="checkbox"/>	見積依頼	見積依頼 - 送信 -
<input checked="" type="checkbox"/>	見積回答	見積回答 - 受信 -
<input checked="" type="checkbox"/>	需要予測	需要予測 - 送信 -
<input checked="" type="checkbox"/>	注文情報	注文情報 - 送信 -
<input checked="" type="checkbox"/>	注文請け情報	注文請け情報 - 受信 -
		納入指示

サプライヤー側設定

利用	処理名称	メニューボタン表示名称
<input checked="" type="checkbox"/>	見積依頼	見積依頼 - 受信 -
<input checked="" type="checkbox"/>	見積回答	見積回答 - 送信 -
<input checked="" type="checkbox"/>	需要予測	需要予測 - 受信 -
<input checked="" type="checkbox"/>	注文情報	注文情報 - 受信 -

初期化 保存 リセット 閉じる

● 初期化ボタン

- 設定内容を初期化します。

● 保存ボタン

- 現在編集集中の設定内容を保存します。

● リセットボタン

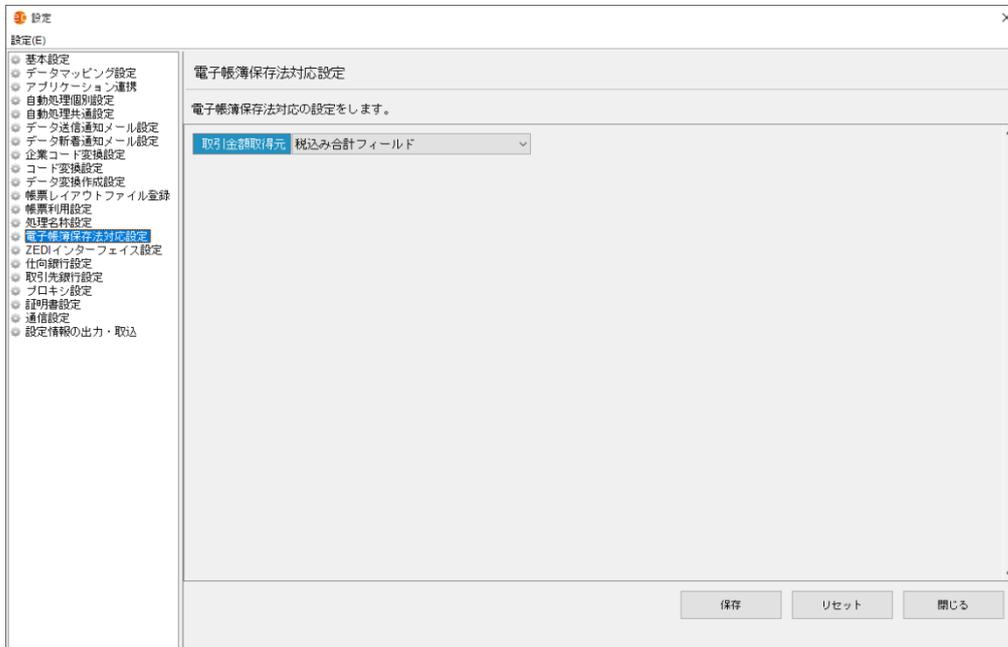
- 最後に保存した設定内容に戻します。

● 閉じるボタン

- 画面を閉じて設定を終了します。
- 保存していない場合、編集した内容は破棄されます。

7.15 電子帳簿保存法対応設定

電子帳簿保存法に対応するための設定を行います。送受信画面の検索条件設定エリアに表示されている「取引金額」に対してどの合計フィールドを取得するのか指定することができます。



● 取引金額取得元

- 送受信画面の検索条件設定エリアに表示する「取引金額」がどの合計フィールドを元に検索を行うのか指定します。

● 保存ボタン

- 現在編集中的の設定内容を保存します。

● リセットボタン

- 最後に保存した設定内容に戻します。

● 閉じるボタン

- 画面を閉じて設定を終了します。
- 保存していない場合、編集した内容は破棄されます。

7.16 ZEDI インターフェイス設定 **オプション機能**

ZEDI インターフェイスの設定を行います。ZEDI インターフェイス設定を行うことで、金融 EDI のフォーマットを指定することができます。受注企業は「金融 EDI 情報一覧」、「金融 EDI 情報ダウンロード」の 2 項目のみ設定が必要です。（それ以外の項目については設定不要）
フォーマットには[中小企業共通 EDI（支払通知）]と[S-ZEDI]の 2 種類があります。

- 金融 EDI 情報の種別
利用する金融 EDI 情報のフォーマットを指定します。
- 金融 EDI 情報の圧縮
金融 EDI 情報を圧縮して送信するか設定します。ただし、EcoChange 間に限り圧縮した金融 EDI 情報を送信することができます。
- 金融 EDI 情報一覧表示
金融 EDI 情報一覧表示画面の項目の並び順を指定します。
- 金融 EDI 情報ダウンロード
金融 EDI 情報をダウンロード際に取得したファイル内の項目の並び順を指定します。
- 振込情報作成元
振込情報を作成する際に元となる情報種を指定します。

● 振込金額計算方法

- 消費税計算
振込金額に消費税計算を行うか指定します。振込金額計算元が「課税対象明細金額（税抜き）」の場合は消費税計算方法の指定は必須です。

- 消費税率

振込金額に消費税計算を行う場合の消費税率を指定します。

- 消費税端数処理

振込金額に消費税計算を行う場合の端数処理を指定します。

- 振込金額計算元

振込金額の計算元となる EDI 項目を指定します。

● **保存ボタン**

- 現在編集内容の設定内容を保存します。

● **リセットボタン**

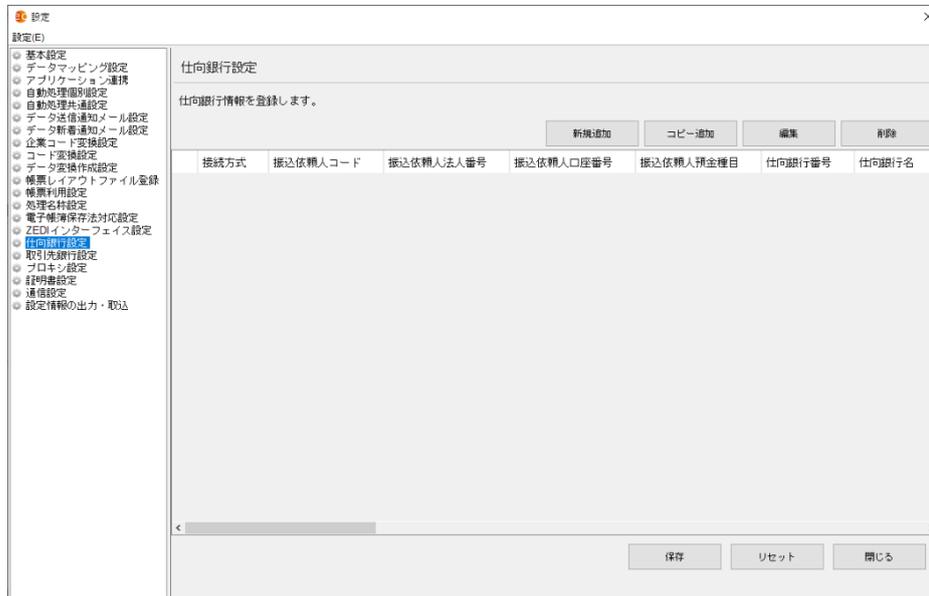
- 最後に保存した設定内容に戻します。

● **閉じるボタン**

- 画面を閉じて設定を終了します。
- 保存していない場合、編集した内容は破棄されます。

7.17 仕向銀行設定 オプション機能

仕向銀行口座の設定を行います。仕向銀行設定は発注企業(振込元)の銀行情報を登録する画面です。仕向銀行設定は発注企業側アカウントで登録が必要です。



● 新規追加ボタン

- 新しい仕向銀行設定を作成します。
※ 詳細画面を表示します

● コピー追加ボタン

- 一覧で選択している取引先銀行設定と同じ内容の設定を追加します。
- 同じ内容の銀行情報を他の取引先に流用したい時などに本機能を利用します。
※ 詳細画面を表示します

● 編集ボタン

- 一覧で選択している取引先銀行設定を編集します。
※ 詳細画面を表示します

● 削除ボタン

- 一覧で選択している取引先銀行設定を削除します。

● 詳細画面

- 一覧に追加、もしくは既存データの編集を行う画面です。

仕向銀行設定 ×

仕向銀行設定を新規追加します。

接続方式	IB :インターネットバンキング
振込依頼人コード	
振込依頼人法人番号	00000000000000
振込依頼人口座番号	0000000
振込依頼人預金種目	普通
仕向銀行番号	0000
仕向銀行名	アコム
仕向支店番号	000
仕向支店名	アコム
振込依頼人名	アコム
振込指定区分	7:デレ振込
識別表示	Y: :
新規コード	1:第1回振込分

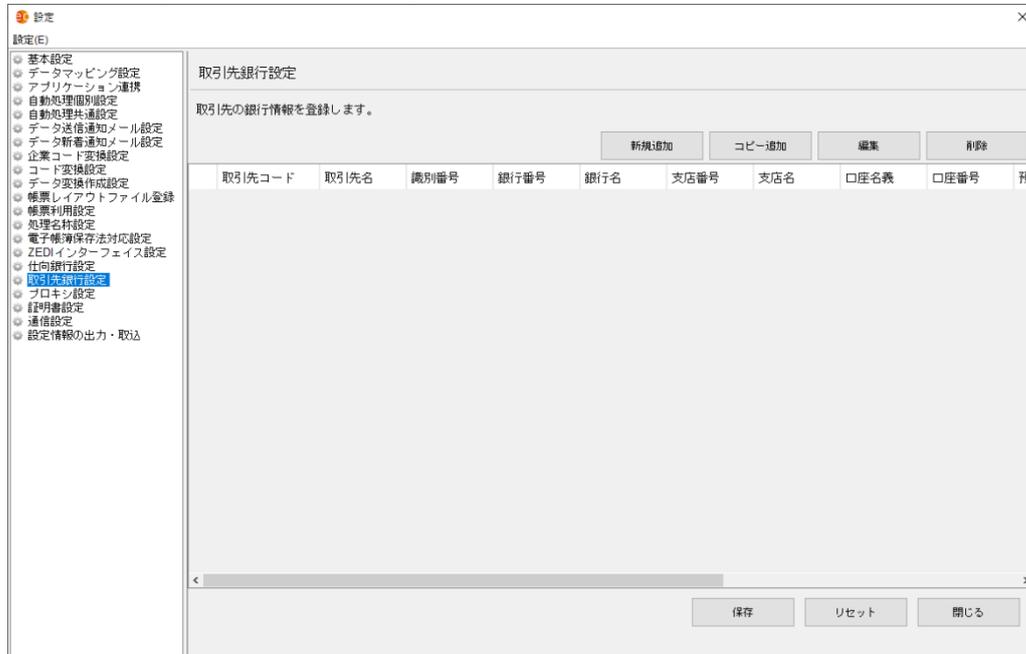
新規追加
リセット
キャンセル

- 接続方式
接続方式が設定されています
- 振込依頼人コード
振込依頼人コードを指定します
- 振込依頼人法人番号
振込依頼人法人番号を指定します
- 振込依頼人口座番号
振込依頼人口座番号を指定します
- 振込依頼人預金種目
振込依頼人預金種目を指定します
- 仕向銀行番号
仕向銀行番号を指定します
- 仕向銀行名
仕向銀行名を指定します
- 仕向支店番号
仕向支店番号を指定します
- 仕向支店名
仕向支店名を指定します

- 振込依頼人名
振込依頼人名を指定します
- 振込指定区分
振込指定区分を指定します
- 識別表示
識別表示を指定します
- 新規コード
新規コードを指定します

7.18 取引先銀行設定 **オプション機能**

取引先の銀行口座（被仕向先銀行口座）の設定を行います。取引先銀行設定は受注企業（振込先）の銀行情報を登録する画面です。取引先銀行設定は発注企業側アカウントで登録が必要です。



● 新規追加ボタン

- 新しい取引先銀行設定を作成します。
※ 詳細画面を表示します

● コピー追加ボタン

- 一覧で選択している取引先銀行設定と同じ内容の設定を追加します。
- 同じ内容の銀行情報を他の取引先に流用したい時などに本機能を利用します。
※ 詳細画面を表示します

● 編集ボタン

- 一覧で選択している取引先銀行設定を編集します。
※ 詳細画面を表示します

● 削除ボタン

- 一覧で選択している取引先銀行設定を削除します。

● 詳細画面

- 一覧に追加、もしくは既存データの編集を行う画面です。

- 取引先選択
取引先の企業を指定します
- 取引先コード
取引先コードを指定します
- ローカルコード
ローカルコードを指定します
- 法人番号
法人番号を指定します
- 識別番号
識別番号を指定します
- 銀行番号
銀行番号を指定します
- 銀行名
銀行名を指定します
- 手形交換所番号
手形交換所番号を指定します
- 支店番号
支店番号を指定します

- 支店名
支店名を指定します
- 口座名義
口座名義を指定します
- 口座番号
口座番号を指定します
- 預金種目
預金種目を指定します
- 受取人法人番号
受取人法人番号を指定します
- 顧客コード 1
顧客コード 1 を指定します
- 顧客コード 2
顧客コード 2 を指定します
- 振込手数料
振込手数料を指定します

● 保存ボタン

- 現在編集中的の設定内容を保存します。

● リセットボタン

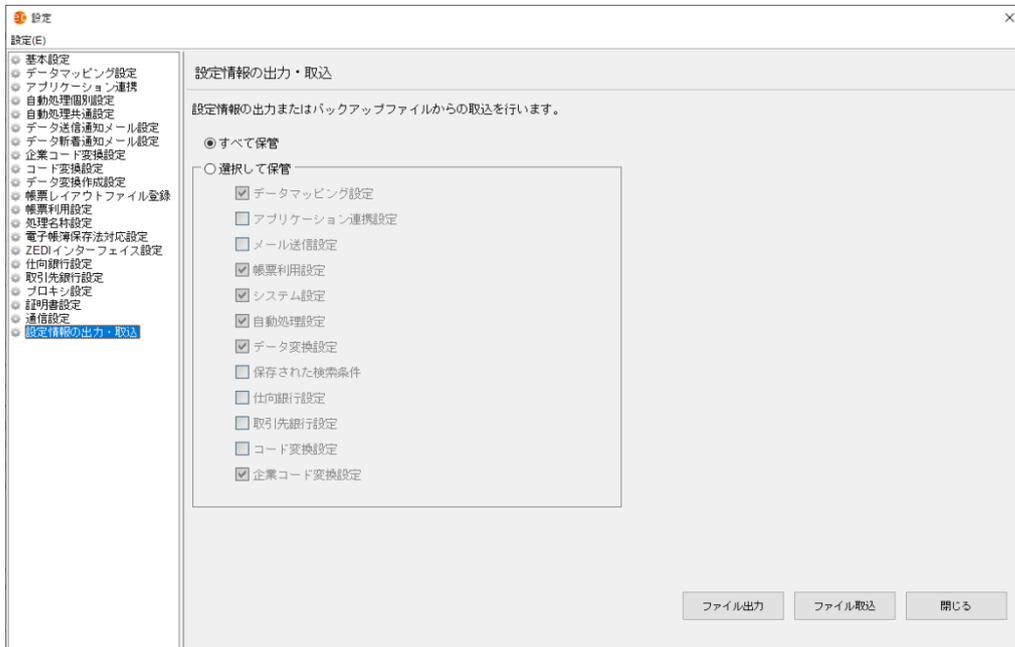
- 最後に保存した設定内容に戻します。

● 閉じるボタン

- 画面を閉じて設定を終了します。
- 保存していない場合、編集した内容は破棄されます。

7.19 設定情報の出力・取込

ユーザーごとの設定をファイル（zip 形式）で保存します。
また、ファイルからユーザーごとの設定を取込みます。



- **すべて保管**
 - すべての設定を保管対象とします。
- **選択して保管**
 - 保管対象とする設定を指定します。
- **ファイル出力**
 - 設定情報をファイルに保存します。
- **ファイル取込**
 - 設定情報をファイルから取込みます。
- **閉じる**
 - 画面を閉じて設定を終了します。

8

自動処理

自動処理の説明をします。

8.1 自動処理アップロード

注文情報等の自動アップロードおよび受信先への送信を行います。

処理を開始する前に以下の設定をしてください。

- [自動処理個別設定]にて処理フォルダ、処理間隔などを設定してください。
※ 処理フォルダには処理済みのファイルを待避するフォルダやログ情報を作成します
- [データマッピング設定]にてアップロード用データマッピングの設定をしてください。

● 排他制御

自動アップロード処理は処理フォルダに「SENDOK.TXT」が存在している間、実行されます。送信情報の追記中に誤って送信処理が開始されてしまうことを防ぐため、「SENDOK.TXT」は送信情報のファイルが配置完了後、処理フォルダに配置してください。

8.2 自動処理ダウンロード

注文情報等受信情報の自動ダウンロードを行います。

処理を開始する前に以下の設定をしてください。

- [自動処理個別設定]にて処理フォルダ、処理間隔などを設定してください。
※ 処理フォルダにはダウンロードした各情報および添付ファイルを保存します
ダウンロードした各情報は CSV 形式ファイルで保存します
- [データマッピング設定]にてアップロード用データマッピングの設定をしてください。

● 排他制御

自動ダウンロード処理完了後、処理フォルダに「RECVOK.TXT」が自動作成されます。「RECVOK.TXT」が存在する間、自動ダウンロード処理は待機中となります。「RECVOK.TXT」を削除すると自動ダウンロード処理が再開されます。ダウンロードしたファイル処理後に「RECVOK.TXT」を削除してください。
※ 「RECVOK.TXT」を意図的に配置し、処理の一時停止をおこなうことも可能です。

8.3 自動処理実行例

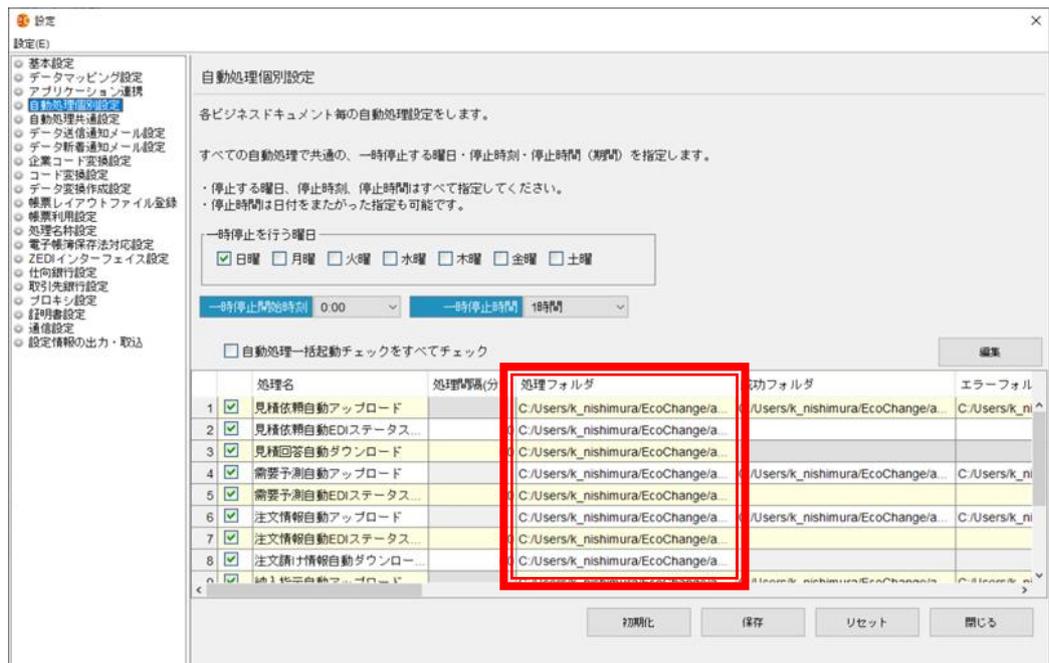
自動処理を利用したアップロード・ダウンロードの例を示します。

● 事前準備① (フォルダ作成)

- 設定画面を開き、[自動処理個別設定]の設定を行います。
- 処理フォルダを作成します。
 - ※ 自動処理を一度実行すると設定に従って処理フォルダが作成されます
 - 簡単に処理フォルダを作成したい場合は自動処理を起動してください

● 事前準備② (ファイル配置)

- 注文情報自動アップロードの処理フォルダに「SENDOK.TXT」と注文情報ファイル(CSV形式かXML形式)を置きます。

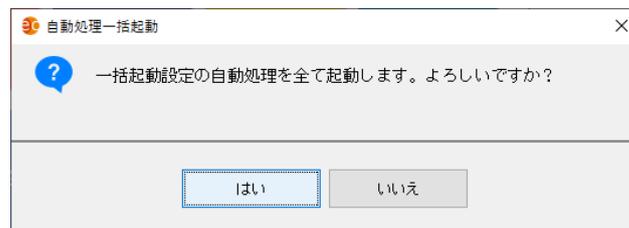


● 自動処理の実行

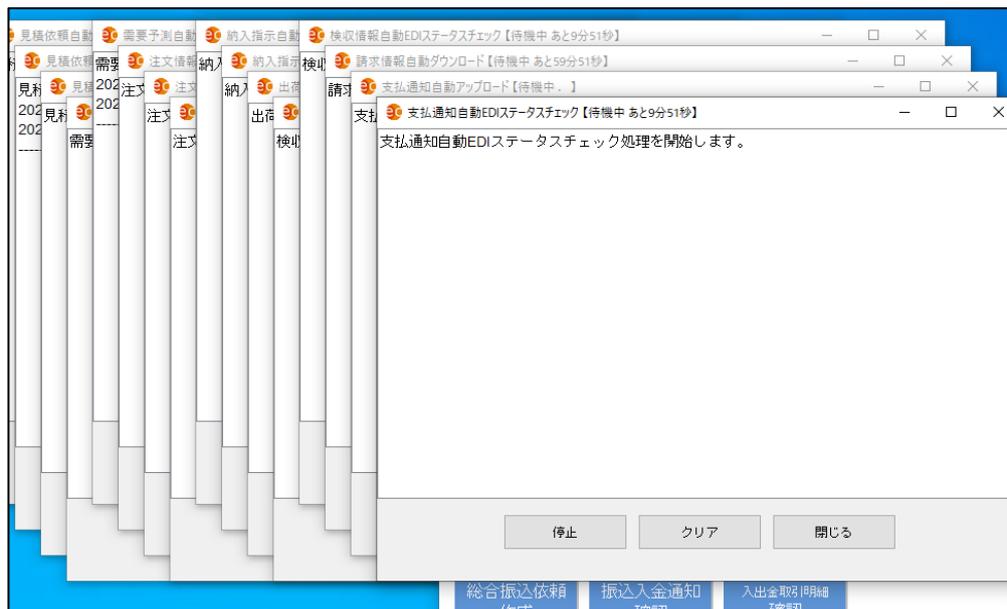
- メインメニューの自動処理アイコンをクリックします。



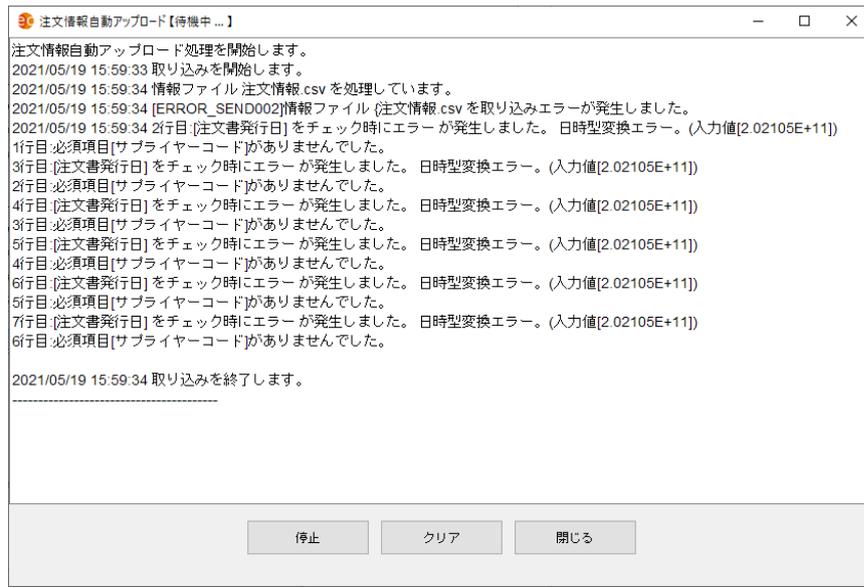
- 確認メッセージが出るので[はい (Y)]をクリックして自動処理を起動してください。



- 設定した各情報の自動処理のダイアログが表示されます。

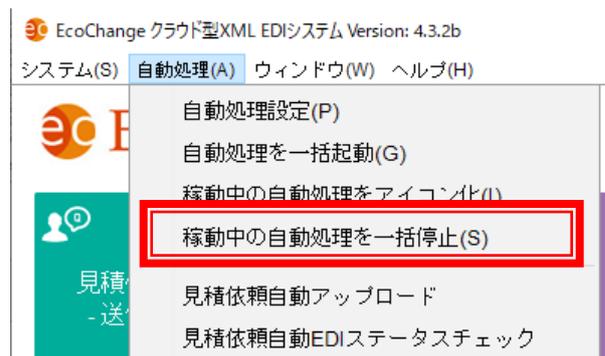


- アップロードを実行すると、システムフォルダの log フォルダ直下に[UPBDS0210 日付.sts]が格納されます。
- アップロードに成功した場合、ファイルは成功フォルダに格納されます。
- アップロードに失敗した場合、ファイルは失敗フォルダに格納されます。また、システムフォルダの log フォルダ直下に[UPBDS0210 日付.log]が格納されます。自動処理でエラーが起きた場合は処理を中断して次のデータを待機します。



● 自動処理の終了

- メニューバーの[自動処理] > [稼働中の自動処理を一括停止]をクリックします。



8.4 コマンドモードでの EcoChange 起動

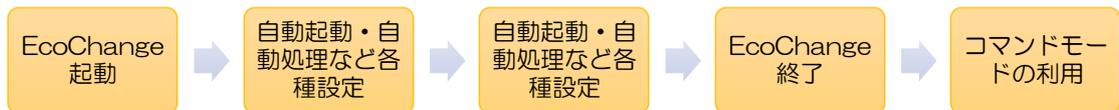
コマンドモードとは EcoChange の画面を表示せず EcoChange を起動する起動モードです。画面が表示されないため自動処理設定に従った処理しか行いませんが要求リソースが少なく PC の負担が通常よりも減少します。

※ コマンドモードは複数の情報種、複数のアクションは指定できません。

● コマンドモードを利用する条件

- EcoChange を利用する PC で通常起動し、各種設定を行ってください
- コマンドモードは一度しか起動しません
繰り返し利用する場合は OS のタスクに登録してご利用ください
- 一度も EcoChange を利用していない PC 上ではコマンドモードは利用できません

コマンドモード利用の流れ



● コマンドモードの例 （自動起動・自動処理の設定を利用）

```
START javaws https://サーバー名/ecochange/start?"  
locale=ja&mode=command"
```

- 上記のコマンドを実行するバッチファイルを作成します。
- 設定画面で設定した情報に従い処理を行います。
- 自動起動の[一度だけ処理する]が、[いいえ]になっていても、一度しか処理されません。

● コマンドモードの例 （コマンド引数で設定）

```
START javaws https://サーバー名/ecochange/start?"  
locale=ja&mode=command&process=Order&action=upload  
&owner=企業コード&user=ユーザーID&pass=パスワード"
```

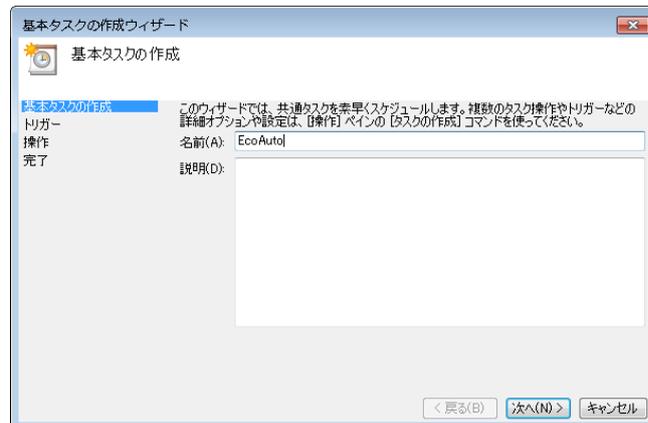
- 上記のコマンドを実行するバッチファイルを作成します。
上記では、EcoChange のアカウント ID・Password の指定を行い、注文情報のアップロードを行うバッチファイルになっています。
- Process と action は 1 行に 1 回のみ指定が可能です。
- 自動起動の[一度だけ処理する]が[いいえ]になっていても一度しか処理されません。
- Process と action を指定しない場合はメインメニューの一括起動と同じですべての自動処理が起動します。

● Windows タスクスケジューラ利用の例 （バッチと併用）

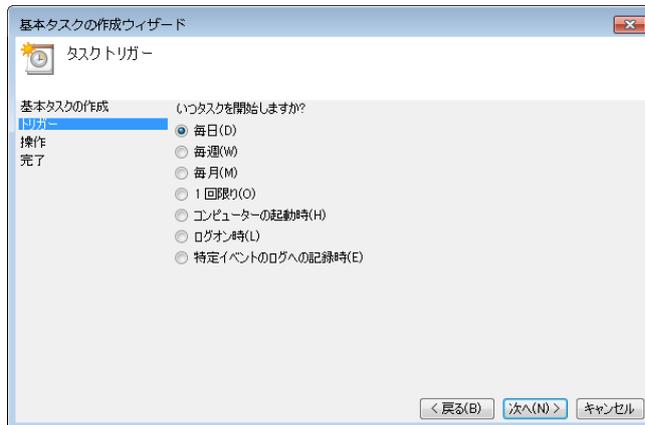
- 例として毎日指定時間に起動し、1 時間ごとに自動処理を繰り返す設定を以下に記載する。
- ① 自動処理共通設定にて、企業コード・ユーザーID・パスワードの設定を行います。
- ② 「[コマンドモードの例（コマンド引数で設定）](#)」を参考にバッチファイルを作成します。
- ③ タスクスケジューラを起動します。



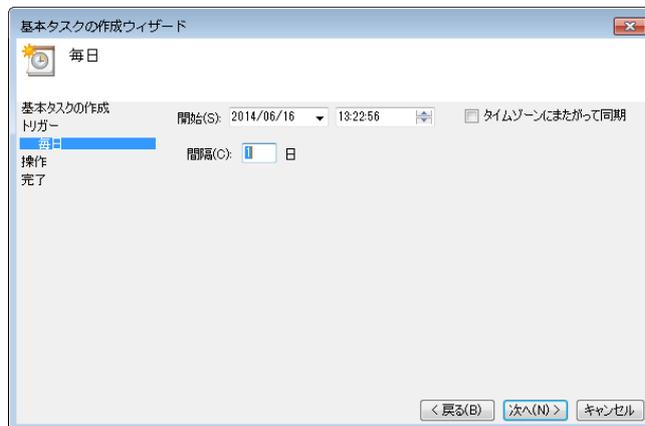
- ④ [基本タスクの作成]をクリックし[基本タスクの作成ウィザード]を起動します。
- ⑤ 任意のタスク名を[名前]に入れ[次へ]をクリックします。



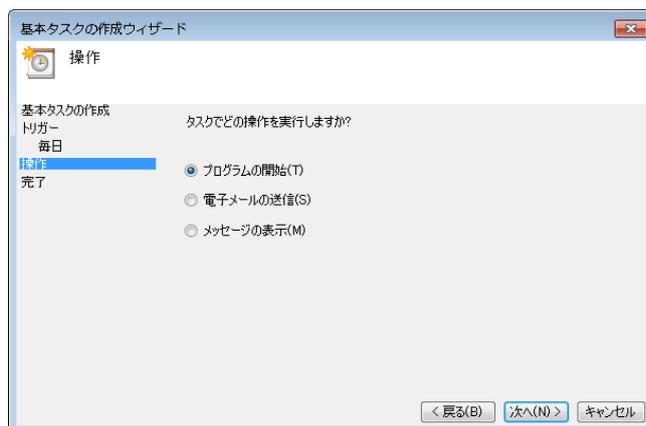
- ⑥ 起動するタイミングを決めます。
一定時間ごとに繰り返す場合は、毎日を選び設定後に編集します。



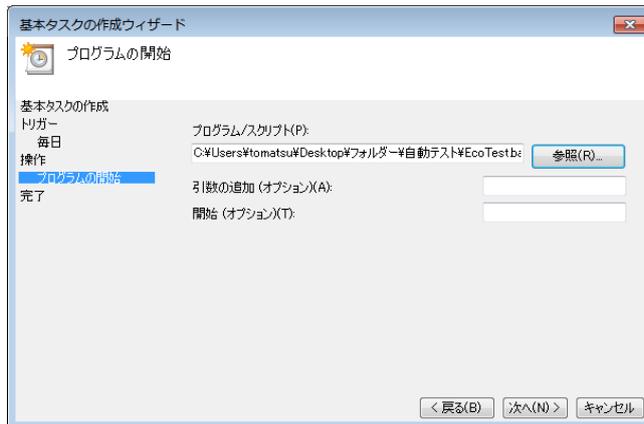
- ⑦ プログラムの開始時間を設定します。



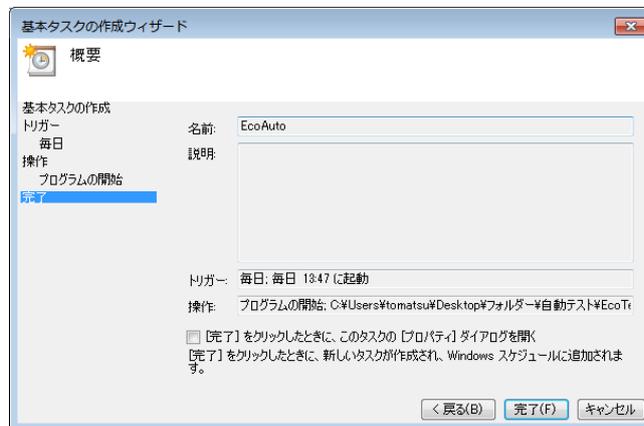
- ⑧ 操作画面で、[プログラムの開始]をチェックします。



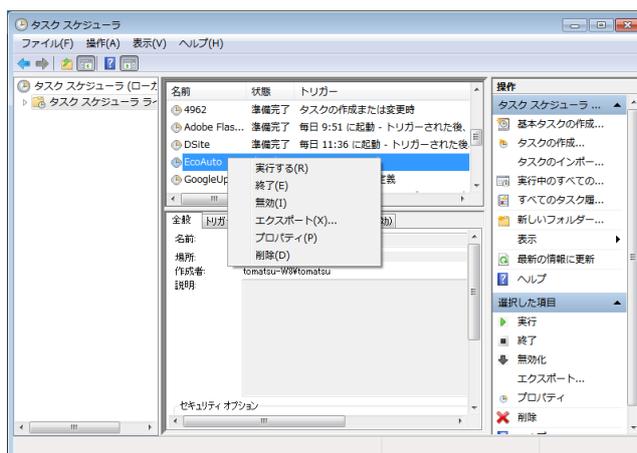
- ⑨ 作成したバッチファイルを、指定します。



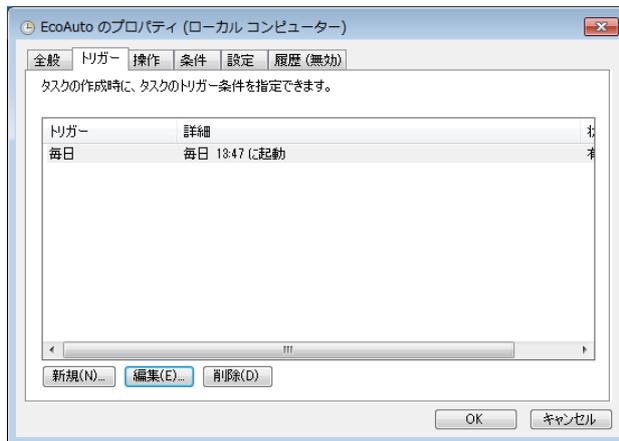
- ⑩ [完了]をクリックします。



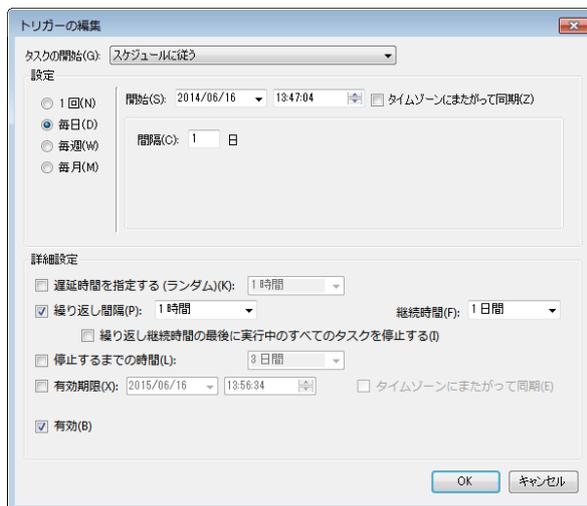
- ⑪ 作成したスケジュールを選択し、プロパティを表示します。



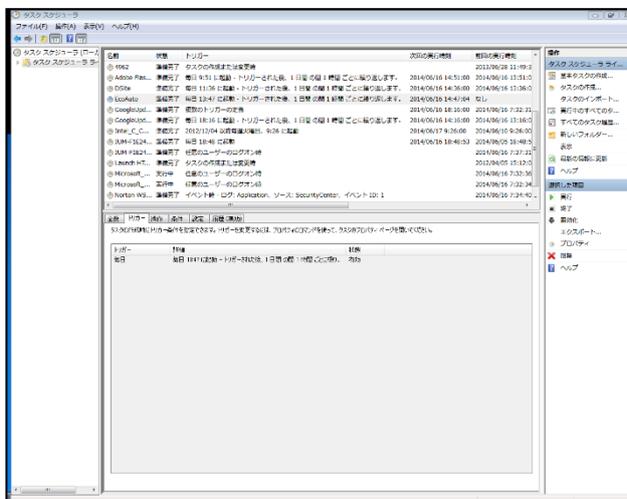
- ⑫ トリガーの編集を行います。



- ⑬ [繰り返し間隔] をチェックして、繰り返し間隔を指定した後、[OK ボタン] を押します。



- ⑭ スケジュールを選択し、トリガータブを見ると設定した間隔が表示されます。
以上で毎日指定時間に起動し、1 時間ごとに自動処理を繰り返す設定の完了です。



● コマンドパラメーター一覧

コマンドパラメータ	説明
“ ”	ダブルコーテーション パラメータ全体を指定
&	アンパサンド パラメータの区切り
START javaws	バッチで Java を起動
-Xnosplash	Java のスプラッシュを禁止
http://サーバー名/サーバー/	EcoChange サーバー名
start?	パラメータの開始
locale=ja	ロケールの指定 ja : 日本 en : 英語
mode=command	モードの設定 指定しなければ、通常起動 Command : コマンドモード
process=Order	情報種の指定 ※1 情報種のみ指定 Ex (Order = 注文情報)
action=upload	実行する動作 ※1 アクションのみ指定 upload = 送信 download = 受信
owner=企業コード	企業コードを指定
user=ユーザーID	ユーザーID を指定
pass=パスワード	パスワードを指定

● 情報種（=ドキュメント種）一覧

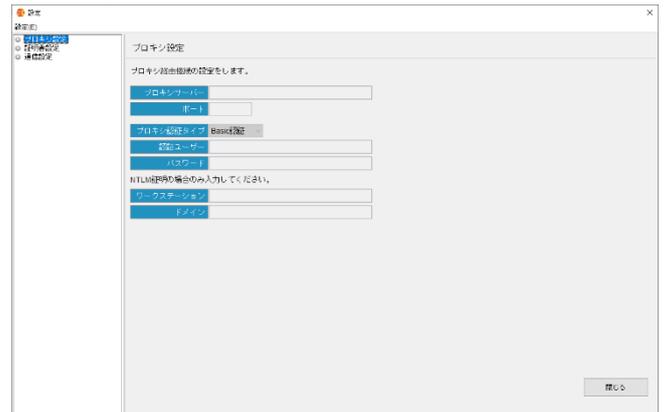
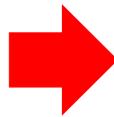
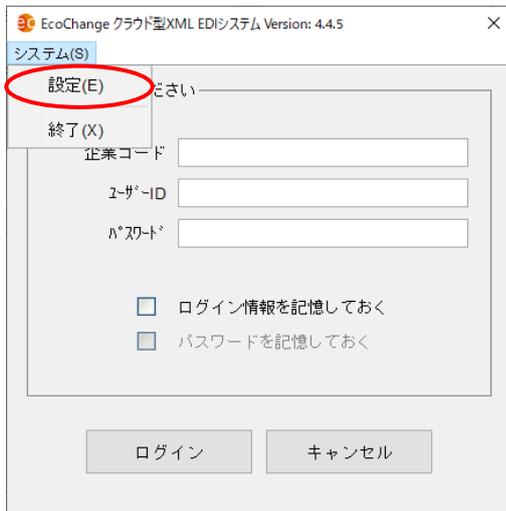
No.	情報種名	情報種名（英名）	情報種識別子
1	見積依頼情報	Quotation	BDS0010
2	見積回答情報	QuotationResponse	BDS0020
3	注文情報	Order	BDS0210
4	注文請け情報	OrderReponse	BDS0240
5	出荷情報	DespatchAdvice	BDS0320
6	検収情報	SelfInvoice	BDS0350
7	請求情報	Invoice	BDS0440
8	支払通知	RemittanceAdvice	BDS0480

9

通信設定

外部との通信を行うために通信設定を行う必要がある企業様向けの説明です。

ログインダイアログ上部システムメニューを開き、「設定 (E)」を選択すると設定画面が表示されます。



9.1 プロキシ設定(ブラウザおよびバッチ起動時に必要)

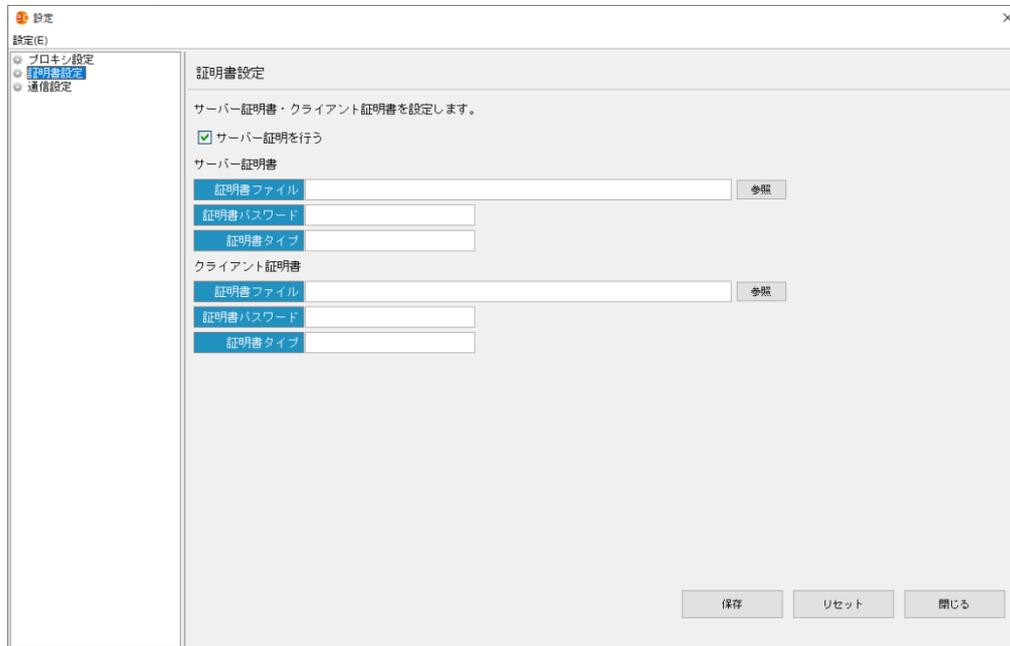
- 3 その他の起動方法(ブラウザおよびバッチで起動した場合)に必要なプロキシの設定を行います。プロキシ利用の有無およびプロキシ設定内容については貴社システム担当者にご確認をお願いします。
- ※ 本設定はアプリ起動時に利用しません。

#	項目名	説明
1	プロキシサーバー	プロキシサーバーの IP アドレスを入力します。
2	ポート	プロキシを行うポートを入力します。
3	プロキシ認証タイプ	認証タイプを選択します。Basic 認証または NTLM 認証
4	認証ユーザー	プロキシに認証が必要な場合入力します。
5	パスワード	認証ユーザーのパスワードを入力します。
6	ワークステーション	ワークステーション名を入力します。※NTLM 認証のみ
7	ドメイン	ドメインを入力します。※NTLM 認証のみ

※NTLM 認証とは、Windows ネットワークで標準的に用いられた利用者認証方式の 1 つ

9.2 証明書設定

サーバー証明書およびクライアント証明書の設定を行います。



● サーバー証明を行う

- をして「保存」ボタンをクリックすると、サーバー証明書の設定が有効になります。

● サーバー証明書

- サーバー証明書の設定を行います。
 - 証明書ファイル
証明書ファイルを指定します
 - 証明書パスワード
証明書のパスワードを設定します
 - 証明書タイプ
証明書のタイプを設定します

● クライアント証明書

- クライアント証明書の設定を行います。
 - 証明書ファイル
証明書ファイルを指定します
 - 証明書パスワード
証明書のパスワードを設定します
 - 証明書タイプ
証明書のタイプを設定します

● **保存ボタン**

- 現在編集集中の設定内容を保存します。

● **リセットボタン**

- 最後に保存した設定内容に戻します。

● **閉じるボタン**

- 画面を閉じて設定を終了します。
- 保存していない場合、編集した内容は破棄されます。

9.3 通信設定

EcoChange の通信に関わる設定をします。

※ EcoChange サポートデスクから指示がない限り初期設定でご利用ください



● TLS バージョン

- 設定を変更せずにご利用ください。

● その他の通信設定

- 最大データ表示件数
値を変更せず初期値でご利用ください
- 同時データマージ件数
値を変更せず初期値でご利用ください
- 同時データ送信件数
値を変更せず初期値でご利用ください
- 通信コネクトタイムアウト
値を変更せず初期値でご利用ください
- 通信リードタイムアウト
値を変更せず初期値でご利用ください
- 通信処理タイムアウト
値を変更せず初期値でご利用ください

● 保存ボタン

- 現在編集中的の設定内容を保存します。

● リセットボタン

- 最後に保存した設定内容に戻します。

● 閉じるボタン

- 画面を閉じて設定を終了します。
- 保存していない場合、編集した内容は破棄されます。

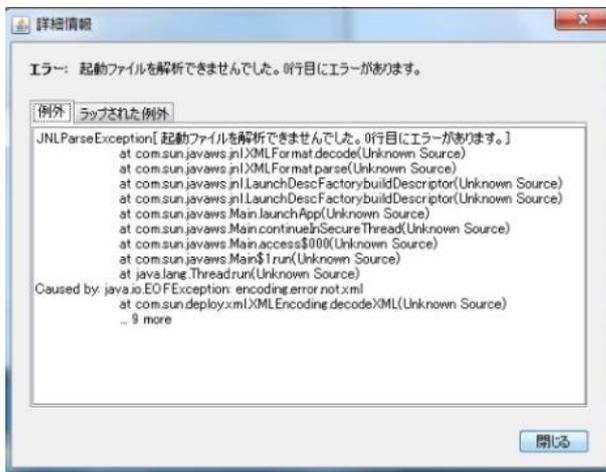
10 トラブルシューティング

EcoChange でのトラブルシューティングを記述します。

- ※ 該当事象が発生した場合、手順に沿って対応を実施ください
- ※ 事象の解決に至らない場合はサポートデスクまでご連絡ください

10.1 ブラウザ起動エラー

EcoChange のブラウザ起動に失敗する。



● 原因

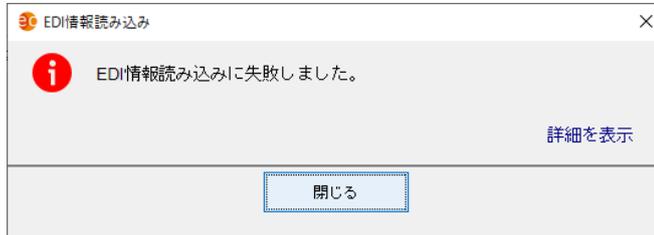
- JNLP ファイル実行時にブラウザから必要な情報がダウンロード出来ていない。

● 対応

- バッチファイルより起動する。
「[3.2 バッチでの起動](#)」参照

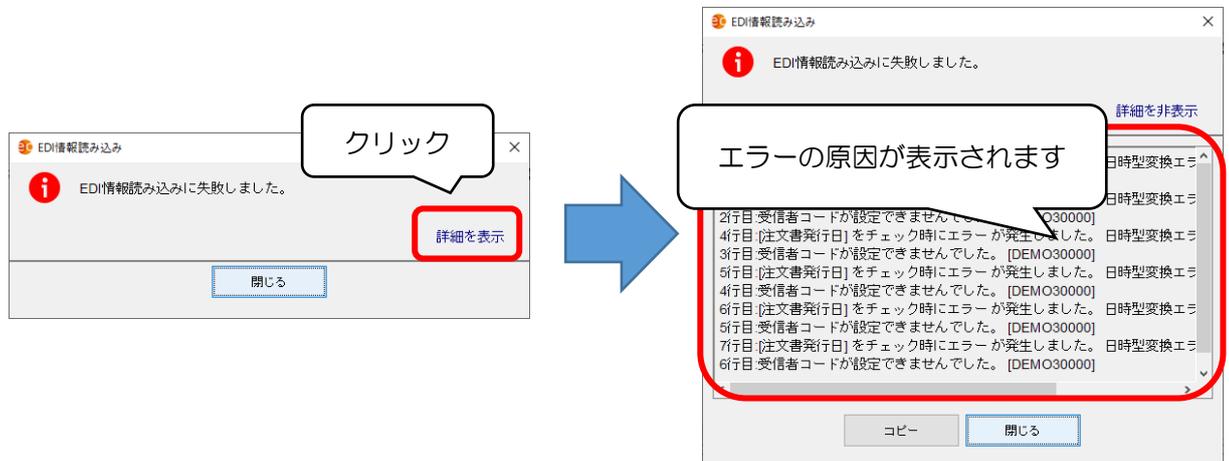
10.2 CSV 取込エラー

送信画面の CSV 取込でエラーが発生する。



● エラーの原因を表示する方法

CSV エラー画面「詳細を表示」をクリックします。



● 原因

- ①項目のデータ型が異なる
- ②バイヤーサプライヤーのコードが正しくない
- ③取込を行う CSV の開始行が、設定内容と異なる
- ④取込を行う CSV に不要な行がある
- ⑤取込を行う CSV の項目とマッピング設定が異なる

● 対応

- ①項目のデータ型を確認（数値かテキストかなど）
- ②受発注両方の企業コードを確認
- ③基本設定画面より、CSV 開始行を確認
- ④CSV から不要な行を削除
- ⑤CSVor マッピングの修正

10.3 その他エラー

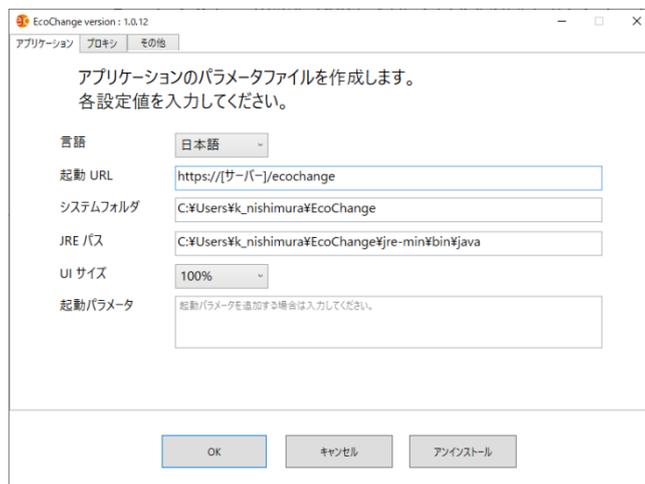
その他エラーが発生した際はエラー内容確認およびエラーログ取得を行い、サポートデスクまでご連絡ください。

● エラー内容確認方法(アプリ起動の場合)

EcoChange のショートカットを Shift+ダブルクリックして設定画面を開きます。



設定画面にて JRE パスを「jre-min/bin/java」と入力して OK を押下します。



EcoChange のショートカットをダブルクリックして起動します。

Java コンソールが表示されるのでエラー発生時の操作を行い、確認してください。

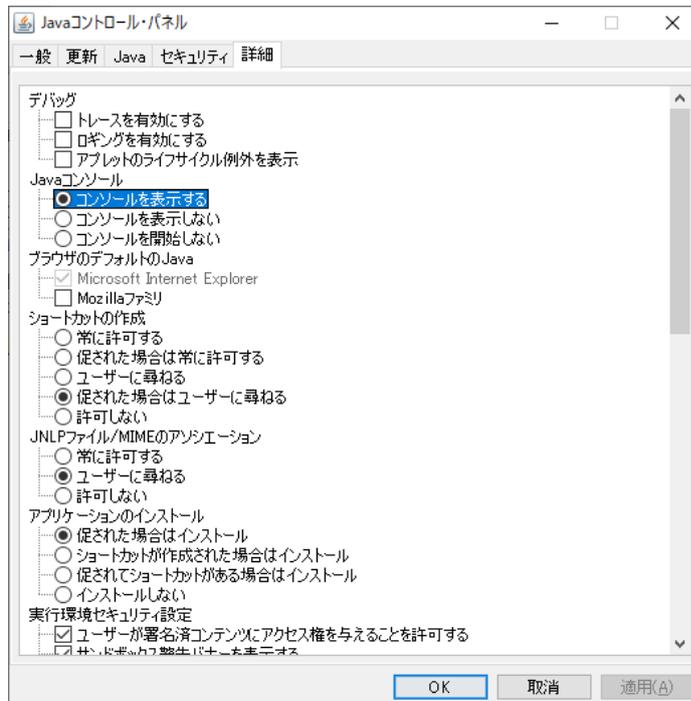
※ 表示を戻す場合は JRE パスを「jre-min/bin/javaw」にしてください

● エラー内容確認方法(ブラウザ、バッチ起動の場合)

「コントロールパネル」 > 「プログラム」 > 「Java」を開きます。



「詳細」タブを開き、「コンソールを表示する」を選択してOKを押下します。



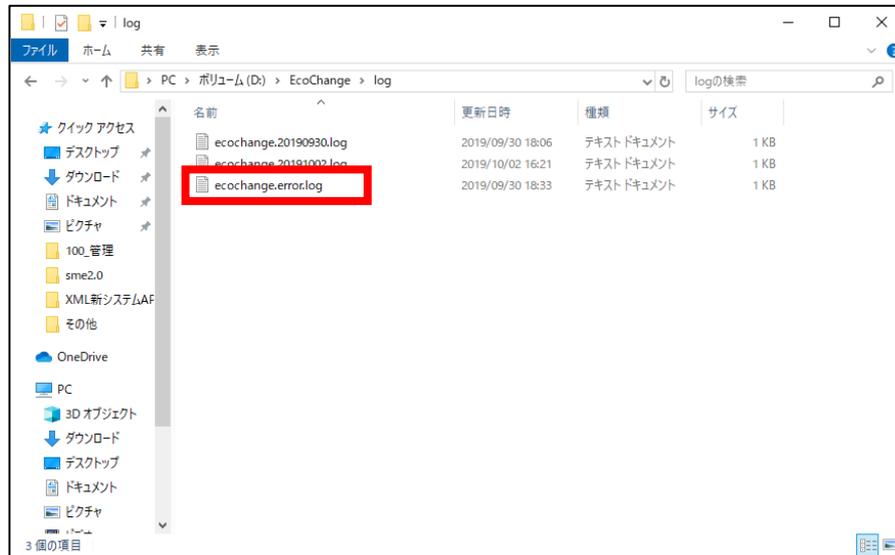
ブラウザまたはバッチから EcoChange を起動します。

Java コンソールが表示されるのでエラー発生時の操作を行い、確認してください。

● エラーログ取得方法

EcoChange のシステムフォルダを開きます。

log フォルダ配下の「ecochange.error.log」を取得してください。



11 逆引き

各事例のマニュアル記載ページを記述します

11.1 メールと連動したい

データ送受信とメールの連動について

- 送信時に連携
 - 「[7.7 データ送信通知メール設定](#)」参照
- 受信時に連携
 - 「[7.8 データ新着通知メール設定](#)」参照

11.2 自動で処理を行いたい

送受信機能を自動で処理する方法について

- 初期設定
 - 「[7.5 自動処理個別設定](#)」参照
- 情報種別の設定
 - 「[7.6 自動処理共通設定](#)」参照
- 自動処理の実行
 - 「[8 自動処理](#)」参照

11.3 画面に表示する項目を変更したい

送受信画面の画面設定について

- 表示項目の変更方法
 - 「[7.3 データマッピング設定](#)」 > 「[一覧\) 設定方法](#)」 > 「[【データマッピング設定-一覧表示用】](#)」参照

11.4 CSV に出力する項目を変更したい

送受信画面の CSV 出力・取込設定について

- CSV アップロード時の項目変更
 - 「[7.3 データマッピング設定](#)」 > 「[一覧\) 設定方法](#)」 > 「[【データマッピング設定-アップロード用】](#)」参照
- CSV ダウンロード時の項目変更
 - 「[7.3 データマッピング設定](#)」 > 「[一覧\) 設定方法](#)」 > 「[【データマッピング設定-ダウンロード用】](#)」参照

11.5 帳票のレイアウトを変更したい

帳票レイアウトの登録の仕方について

- 自社で用意した帳票レイアウトの使用
 - 「[7.13 帳票利用設定](#)」参照